

DVDチェンジャー

取扱説明書

お買い上げいただきありがとうございます。



電気製品は安全のための注意事項を守らないと、火災や人身事故になることがあります。

この取扱説明書および「取り付けと接続」には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱いかたを示しています。この取扱説明書および「取り付けと接続」をよくお読みのうえ、製品を安全にお使いください。

お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。



DVX-100



警告

安全のために

ソニー製品は安全に十分配慮して設計されています。しかし、電気製品はすべて、間違った使いかたをすると、火災や感電などにより人身事故になることがあります危険です。事故を防ぐために次のことを必ずお守りください。



安全のための注意事項を守る

この取扱説明書および別冊の「取り付けと接続」の注意事項をよくお読みください。

道路交通法に従って安全運転する

運転者は道路交通法に従う義務があります。前方注意をおこたるなど、安全運転に反する行為は違法であり、事故やけがの原因となります。

- 運転者は走行中に操作をしない。
- 車外の音が聞こえる程度の音量で聞く。

定期的に点検する

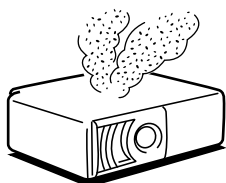
1年に1度は、電源コードに傷みがないか、振動により配線がはずれていないか、接続部分が車体と接触していないか、などを点検してください。

故障したら使わない

動作がおかしくなったり、キャビネットや電源コードなどが破損しているのに気づいたら、すぐにテクニカルインフォメーションセンター、お買い上げ店またはソニーサービス窓口へ修理をご依頼ください。

万一、異常が起きたら

変な音・においがしたら、煙が出たら



- ① 安全な場所に車を止める
- ② 電源を切る
- ③ テクニカルインフォメーションセンター、お買い上げ店またはソニーサービス窓口へ修理を依頼する

警告表示の意味

取扱説明書および製品では、次のような表示をしています。表示の内容をよく理解してから本文をお読みください。



この表示の注意事項を守らないと、火災・感電などにより死亡や大けがなど人身事故の原因となります。



この表示の注意事項を守らないと、感電やその他の事故によりけがをしたり周辺の家財に損害を与えたりすることがあります。

注意を促す記号



火災



感電



指挟み

行為を禁止する記号



禁止



分解禁止













接触禁止







目次

安全のために	2
⚠ 警告	4
⚠ 注意	5
使用上のご注意	6
本機の取り扱い	6
電池についての安全上のご注意	6
ディスクの取り扱い	7
主な特長	8
この取扱説明書の使いかた	8
再生できるディスクについて	9
各部のなまえ	12
ワイヤレスリモコン	12
ワイヤードリモコン	13

準備する	14
ワイヤレスリモコンに電池を入れる	14
本機にディスクを入れる	15
ディスクを取り出す	16
送信周波数を設定する	17

再生する	18
ディスクを再生する	18
いろいろな操作方法	19
音楽用CDの操作画面 	20
繰り返し再生する	
—リピート再生 / A-Bリピート再生	21
繰り返し再生する(リピート再生)	21
再生したい部分だけを繰り返す	
(A-Bリピート再生)	22
速さを変えて再生する	23
早送り / 早戻し再生する	23
スロー再生する  	23
コマ送り再生する  	23
好きな順に再生する	
—プログラム再生 	24
プログラムリストを作成する	24
プログラム再生する	26
順不同に再生する—シャッフル再生 	27
曲の出だし部分を再生する	
—イントロスキップ再生 	27

いろいろな操作	28
ディスク一覧を表示する	28
経過時間と残り時間を見る	30
見たい場面をさがす  	31
字幕を表示する 	32
DVDのメニューを使う 	33
タイトルメニューを使う	33
DVDメニューを使う	33
音声言語を切り換える 	34
アングルを切り換える 	34
音声を切り換える  	35
プレイバックコントロール機能を使う	
—PBC再生 	36

設定する	38
設定画面を使う	38
設定画面	39
DVDメニュー言語を設定する 	40
音声言語を設定する 	40
字幕言語を設定する 	41
デジタルアウトを設定する	42
モニターのアスペクト比を設定する	43
視聴制限を設定する 	44
パスワードを登録する	44
視聴制限レベルを換える	45
パスワードを変更する	46
画面メッセージの入/切を設定する  	47
プレーヤー言語を設定する	47

その他	48
故障かな? と思ったら	48
保証書とアフターサービス	51
主な仕様	51
索引	裏表紙

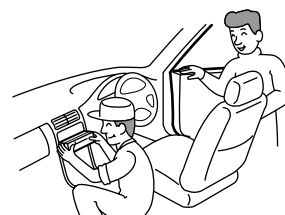


下記の注意事項を守らないと**火災・感電**により**死亡**や**大けが**の原因となります。

取り付けはお買い上げ店に依頼する

本機の実装には専門知識が必要です。

万一、ご自分で取り付けるときは、別冊の「取り付けと接続」の説明に従って、正しく取り付けてください。正しい取り付けをしないと、火災や感電の原因となります。

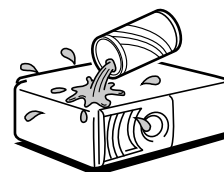


内部に水や異物を落とさない

水や異物が入ると火災や感電の原因となります。万一、水や異物が入ったときは、すぐに電源を切り、お買い上げ店またはソニーサービス窓口にご相談ください。



禁止

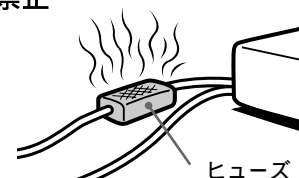


規定容量のヒューズを使う

ヒューズを交換するときは、必ず電源コードのヒューズケースまたは本体に記された規定容量のアンペア数のものをお使いください。規定容量を越えるヒューズを使うと、火災の原因となります。



禁止

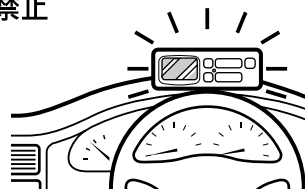


前方の視界を妨げる場所に、ワイヤードリモコンやモニターを取り付けない

前方の視界の妨げになると、事故やけがの原因となります。また、取り付け場所が、助手席用エアバッグシステムの動作の妨げにならないことを確認してください。



禁止



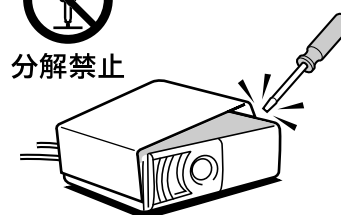
分解や改造をしない

火災や感電、事故の原因となります。

内部の点検や修理はお買い上げ店またはソニーサービス窓口にご依頼ください。



分解禁止





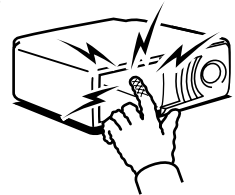
下記の注意を守らないと**けが**をしたり**自動車に
損害**を与えたりすることがあります。

ディスク挿入口に手を入れない

内部で手をはさまれ、けがの原因となることがあります。



指挟み



ひび割れ、変形したディスクや補修したディスクを再生し
ない

本体内部でディスクが破損し、けがの原因となることがありま
す。



禁止



使用上のご注意

本機の取り扱い

本体の表面を傷めないために

本体表面に殺虫剤やヘアスプレーがかかったり、防虫剤などの薬品やゴム、ビニール製品が長時間接触しないようにしてください。本体表面が変質、変形したり、塗装がはげたりすることがあります。

ワイヤードリモコンの液晶表示について

極端な高温または低温のところでは、表示が見づらくなることがありますが、故障ではありません。周囲の温度が常温に戻ると、通常の表示に戻ります。

結露について

寒いときにヒーターをつけた直後など、DVDチェンジャー内部の光学系のレンズに露（水滴）が生じることがあります。このような現象を結露といいます。結露したままですと、レーザーによる読み取りができず、DVDチェンジャーが動作しないことがあります。周囲の状況にもよりますが、ディスクマガジンを取り出して放置しておけば、約1時間ほどで結露が取り除かれ、正常に動作するようになります。もし何時間経過しても正常に動作しない場合はアフターサービス窓口にお申しつけください。

電池についての安全上のご注意

漏液、発熱、発火、破裂などを避けるため、下記のことを必ずお守りください。

警告

- 火の中に入れない。ショートさせたり、分解、加熱しない。
- 乾電池は充電しない。
- 指定された種類の電池を使用する。

注意

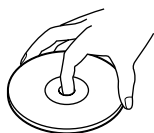
- + と - の向きを正しく入れる。
- 電池を使い切ったとき、長時間使用しないときは、取り出しておく。
- 新しい電池と使用した電池、種類の違う電池を混ぜて使わない。

もし電池の液が漏れたときは、電池入れの液をよくふきとってから、新しい電池を入れてください。万一、液が身体についたときは、水でよく洗い流してください。

ディスクの取り扱い

ディスクの汚れや、ゴミ、キズ、そりなどが、音とびなど誤動作の原因となることがあります。いつまでも美しい音で楽しめるように、次のことにご注意ください。

取り扱いかた



記録面に触れないように持つ。



ディスクに紙などを貼らない。
キズをつけない。

こんなディスクは使わないでください

本体内部にディスクが貼り付いて故障の原因となったり、大切なディスクにもダメージを与えることがあります。

- 中古やレンタルディスクでシールなどののりがはみ出したり、シールをはがしたあとにのりが付着しているもの



またラベル面に印刷されているインクにべたつきのあるもの



- レンタルディスクでシールなどがめくれているもの

- お手持ちのディスクに飾り用のラベルやシールを貼ったもの



本機では円形ディスクのみお使いいただけます。円形以外の特殊な形状(星形やハート形、カード型など)をしたディスクを使用すると、本機の故障の原因となることがあります。

保存

ディスクケースまたはディスクマガジンに入れ、直射日光が当たるところなど高温の場所、湿度の高いところを避けて保管してください。特に夏季、直射日光下で閉めきった車のシート、ダッシュボードの上などはかなりの高温になりますので、絶対に放置しないでください。



お手入れ

演奏する前に、演奏面についたホコリやゴミ、指紋などを付属のクリーニングクロスなどで矢印の方向へふきとってください。ベンジン、アナログ式レコード盤用のクリーナーは使用しないでください。静電気防止剤なども、逆にディスクを傷めることがありますので、使用しないでください。



CD-R/CD-RWについて

- 本機はお客様が編集された音楽用CD-R(レコーダブル)*およびCD-RW(リライタブル)*ディスクを再生することができます。ただし、録音に使用したレコーダーやディスクの状態によっては再生できない場合があります。
- ファイナライズ処理(通常のCDプレーヤーで再生できるようにする処理)をされていないCD-RおよびCD-RWディスクは再生できません。

* 音楽用CD-RおよびCD-RWディスクには右記のマークが印刷されています。



右記のマークが印刷されているディスクは、音楽用CD-RおよびCD-RWではありません。







主な特長

- 10連奏DVD/ VCD/ CDチェンジャー
- CD-R/ CD-RW/ CD-Extra(音声)/ Mixed CD(音声)再生対応
- DTS/ Dolby digital対応 光デジタル音声出力端子装備
- システムアップする機種を選ばないFMモジュレーター付属

この取扱説明書の使いかた

- この取扱説明書では、ワイヤレスリモコンのボタンを使った操作説明を主体にしています。
ワイヤレスリモコンと同じマークのワイヤードリモコンのボタンも同じように使えます。
- 別冊の「取り付けと接続」および「準備する(14~17ページ)」をご覧ください。接続などの準備を済ませてください。
- 基本的な使いかたは、「再生する(18~27ページ)」をご覧ください。
- さらに進んだ使いかたについては、28ページ以降をご覧ください。
- この取扱説明書では、次の記号を使っています。

記号	意味
	知っていると便利な情報です。
	DVDビデオで使える機能です。
	ビデオCDで使える機能です。
	音楽用CDで使える機能です。

再生できるディスクについて

本機では次のディスクが再生できます。次のディスク以外は再生できません。

ディスクの種類	DVDビデオ	ビデオCD	音楽用CD (音楽用CD-R、CD-RW、CD-Extra/ Mixed CDの音声部分)
ディスクに付いている マーク (ロゴ)	 	 	  
記録しているもの	音声 + 映像	音声 + 映像	音声

“DVD VIDEO” ロゴは商標です。

DVD

音声と映像を記録できるディスクです。現在のCD-ROMの約7倍の容量があり、12cmのディスクの場合、最長で約4時間 (両面の場合約8時間) の再生が可能です。DVDは、片面1層、片面2層、両面1層、両面2層の4種類のディスクが規格化されています。

ビデオCD (VCD)

音楽用CDと同じサイズのディスクに、音声と映像を記録できます。12cmのディスクは最長で74分の再生が可能です。

音楽用CD (CD)

音声を記録できるディスクです。12cmのディスクは最長で74分の再生が可能です。

音楽用レコーダブルCD (CD-R)

個人で編集できる音楽用CDです。CD-Rレコーダーで1度だけ音声の書き込みができます。

音楽用リライタブルCD (CD-RW)

個人で編集できる音楽用CDです。CD-RWレコーダーで何度も音声の書き込みができます。

CDエキストラ (CD-Extra)

音声とデータが2つのセッションに記録されているCDです。本機では、“音声部分のみ”再生できます。

ミックスドCD (Mixed CD)

音声とデータが1つのセッションに記録されているCDです。本機では、“音声部分のみ”再生できます。

ご注意

- 本機はNTSCカラーテレビ方式に対応しています。NTSC以外のカラーテレビ方式 (PAL/ SECAM) 対応のディスクは再生できません。
- お客様が編集された音楽用のCD-R (レコーダブル) およびCD-RW (リライタブル) ディスクは録音に使用したレコーダーやディスクの状態によって再生できない場合があります。
- 本機で次のディスクを再生することはできません。
 - 8cmディスク
 - CD-ROM
 - CD-G
 - Photo CD
 - VSD
 - DVD-R
 - DVD-RW
 - DVD-ROM
 - DVD-RAM
 - DVD-Audio
 - Active Audioのデータ部分
 - CD-Extraのデータ部分
 - Mixed CDのデータ部分
- 本機は、マクロビジョンコーポレーションやその他の権利者が保有する、米国特許上の方法クレーム及びその他の知的所有権によって保護された著作権保護技術を搭載しています。この著作権保護技術の使用にはマクロビジョンコーポレーションの許諾が必要であり、マクロビジョンコーポレーションが特別に許諾する場合を除いては、一般家庭その他における限られた視聴用以外に使用してはならないこととされています。リバーシエンジニアリングまたは分解は禁止されています。
- DTS^{*} で記録されたCDを再生するとアナログ出力からは極端に大きなノイズが出ます。DVDプレーヤーのアナログ出力をアンプにつないでいるときは、お手持ちのシステムが破損しないよう細心の注意を払う必要があります。DTS Digital Surround[®] での再生をお楽しみいただくには、DVDプレーヤーのデジタル出力に5.1チャンネルの外部DTS Digital Surround[®] デコーダーを接続する必要があります。

^{*} Digital Theater Systems, Inc.からの実施権に基づき製造されています。DTSおよびDTS Digital Surround、DTS Digital OutはDigital Theater Systems, Inc.の登録商標です。

[次のページへつづく](#)

再生可能なDVDの地域番号(リージョンコード)について

DVDには②のように地域番号が表示されているものがあります。表示中の数字は再生できるプレーヤーの地域番号を表わしています。この表示に「2」か「ALL」が含まれていない、または②や③の表示のないDVDは、本機で再生できません。このようなDVDを再生しようとしたときは、「このディスクは再生することができません」と画面に表示されます。また地域番号の表示がないDVDでも地域制限されている場合があり、本機で再生できないことがあります。

DVD、ビデオCD再生時の操作上のご注意

DVD、ビデオCDはソフト制作者の意図により再生状態が決められていることがあります。本機ではソフト制作者が意図したディスク内容にしたがって再生を行うため、操作したとおりに機能が働かない場合があります。再生するディスクに付属の説明書も必ずご覧ください。

DVDに表示されているマークの説明

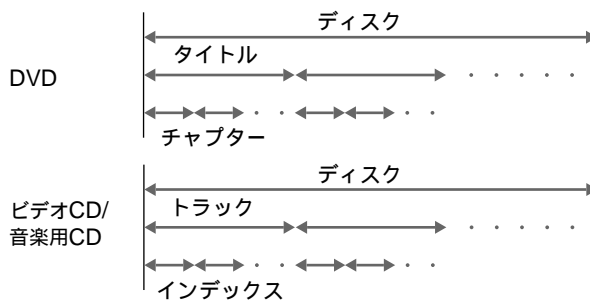
DVDのディスクやパッケージに表示されているマークには以下のようなものがあります。これらのマークは、ディスクに記録されている内容や、使える機能を表しています。

ただし、機能があっても、マークが表示されていないDVDもあります。

マーク	意味
③	音声のトラック数を表します。
2	字幕の数を表します。
3	アングル数を表します。
16:9 LB	選択可能な画像アスペクト比を表します。
②	再生可能な地域番号を表します。

ディスクに関する用語の説明

- **タイトル**
DVDに記録されている映像や曲のいちばん大きな単位です。通常は映像ソフトでは映画1作品、音楽ソフトではアルバム1枚(または1曲)にあたります。それぞれのタイトルに順に付けられた番号をタイトル番号といいます。
- **チャプター**
DVDに記録されている映像や曲の区切りで、タイトルより小さい単位をチャプターといいます。1つのタイトルはいくつかのチャプターで構成されます。それぞれのチャプターに順に付けられた番号をチャプター番号といいます。ディスクによってはチャプターが記録されていないものもあります。
- **トラック**
ビデオCDや音楽用CDに記録されている映像や曲の区切り(1曲分)をトラックといいます。それぞれのトラックに順に付けられた番号をトラック番号といいます。



- **ビデオインデックス(ビデオCD)/インデックス(音楽用CD)**
ビデオCDおよび音楽用CDで、再生したい部分を見つけやすいように、1つのトラックをいくつかの部分に区切って番号を付けたものです。ディスクによってはインデックスが記録されていないものもあります。
- **シーン**
PBC(プレイバックコントロール)対応のビデオCDで、メニュー画面や動画、静止画の区切りのことをシーンといいます。シーンごとに順に付けられた番号をシーン番号といいます。

プレイバックコントロール(PBC)について (ビデオCD)

本機は、PBC対応ビデオCD(バージョン2.0)にも対応しています。(PBCとは、プレイバック コントロール Playback Controlの略です。)

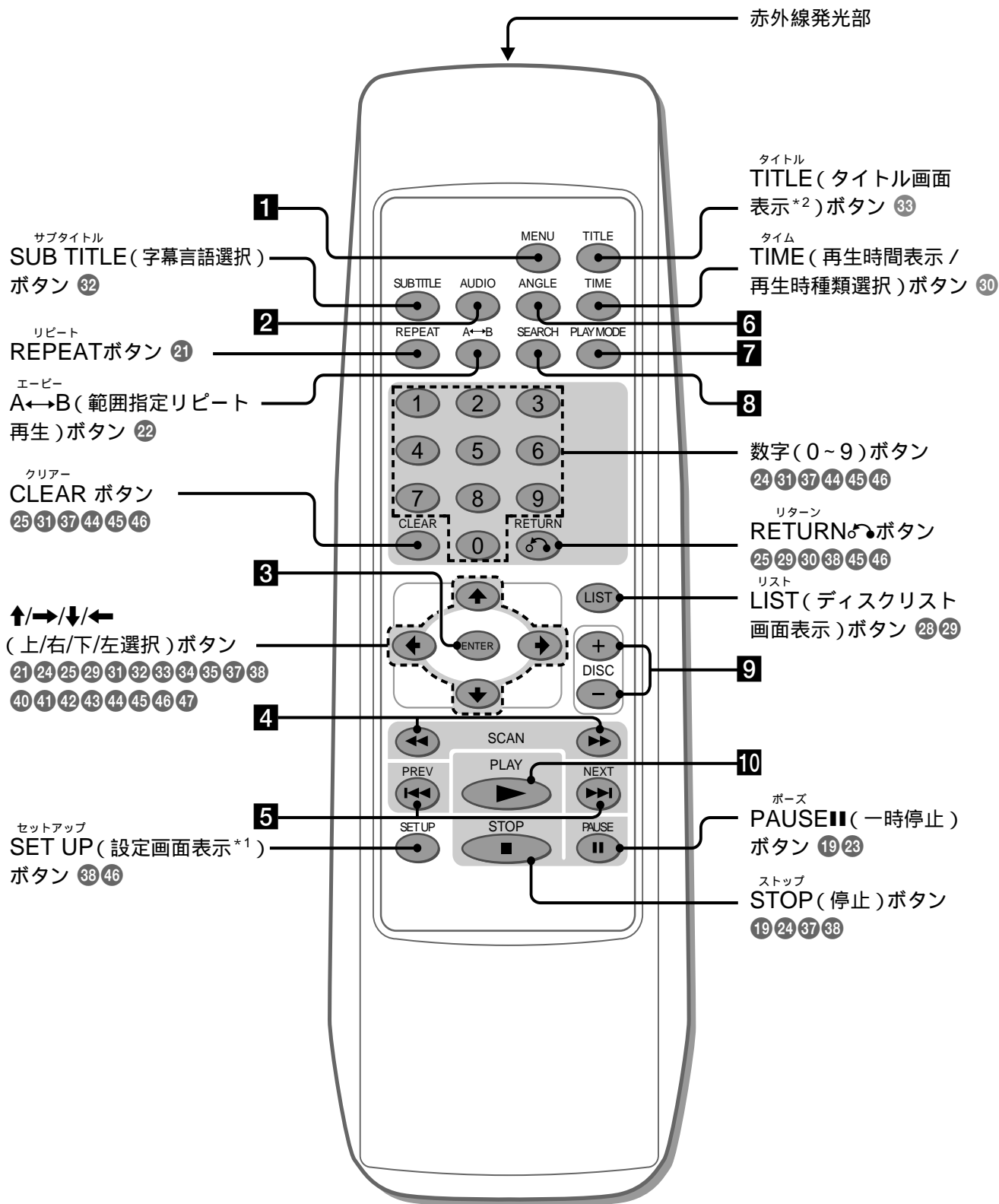
ディスクのタイプによって、次の2種類の再生を楽しめます。

ディスクのタイプ	楽しみかた
PBC対応でないビデオCD(バージョン1.1)	音楽用CDと同じように操作して、音声と映像(動画)を再生できます。
PBC対応ビデオCD(バージョン2.0)	上記(PBC対応でない場合)の楽しみかたに加えて、テレビ画面に表示されるメニュー画面(選択画面)を使って、対話型のソフトや検索機能のあるソフトを再生できます(PBC再生、36ページ)。また、高精細の静止画も再生できます。

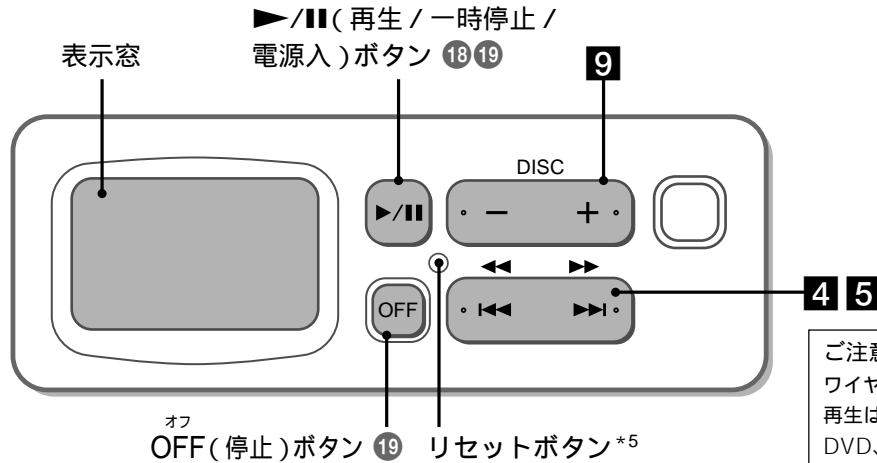
各部のなまえ

ワイヤレスリモコン

くわしい説明は●内のページをご覧ください。



ワイヤードリモコン



ご注意

ワイヤードリモコンでスロー再生、コマ送り再生はできません。

DVD、ビデオCDを一時停止中、ワイヤードリモコンの▶▶(5)ボタンを押すとチャプターサーチ、トラックサーチとなり、◀◀/▶▶(4)ボタンを長押しすると早戻し再生、早送り再生(2倍速のみ)となります。

1 メニュー MENUボタン

DVD	DVDメニュー画面表示*2 33
ビデオCD	PBCメニュー画面表示 (PBC再生時)*3 37

2 オーディオ AUDIOボタン

DVD	音声言語切り換え 34
ビデオCD / 音楽用CD	出力音声切り換え 35 36

3 エンター ENTERボタン

21 24 25 29 31 32 33 34 35 37 38 40 41 42 43 44
45 46 47

4 スキャン SCAN ◀◀/▶▶ (早送り再生 / 早戻し再生 / スロー再生*4) ボタン 19 23

ワイヤードリモコンでスロー再生はできません。

5 プレビュー ネクスト PREV ◀◀/NEXT ▶▶ (チャプターサーチ / トラックサーチ / コマ送り再生*4) ボタン 19 23

ワイヤードリモコンでコマ送り再生はできません。

6 アングル ANGLE (アングル切り換え*2) ボタン 34

7 プレイ モード PLAY MODE (再生モード切り換え / プログラム作成画面表示*1) ボタン 24 26 27

8 サーチ SEARCH (タイトル / チャプター / トラック / 再生時間指定再生*2) ボタン 31

9 ディスク DISC +/- (ディスク選択) ボタン 18 19

10 プレイ PLAY ▶ (再生 / 早送り再生解除 / 早戻し再生解除 / コマ送り再生解除 / スロー再生解除) ボタン 19 23 24 25 26 37 38

*1 停止時のみ

*2 DVD再生時

*3 ビデオCD再生時

*4 DVD、ビデオCD一時停止時(ワイヤレスリモコンのみ)

*5 以下の時は、つま楊子の先などで押す

- 初めて使うとき
- 本機からワイヤードリモコンを接続し直したとき
- 表示が正しくされないとき
- 各ボタンで正しく操作できないとき

準備する

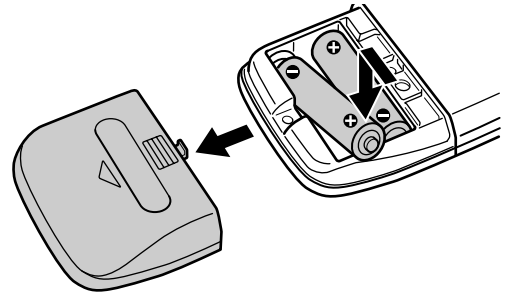
ここでは、本機を使うための準備をします。まずは別冊の「取り付けと接続」をご覧ください。本機を正しく設置してください。

ワイヤレスリモコンに電池を入れる

本機の操作は付属のワイヤレスリモコン（以下、リモコンと呼びます）とワイヤードリモコンでおこないます。

リモコンを使用するために、付属の電池を入れてください。

本機を操作するときは、付属のリモコンセンサーの受光部にリモコンを向けて操作してください。



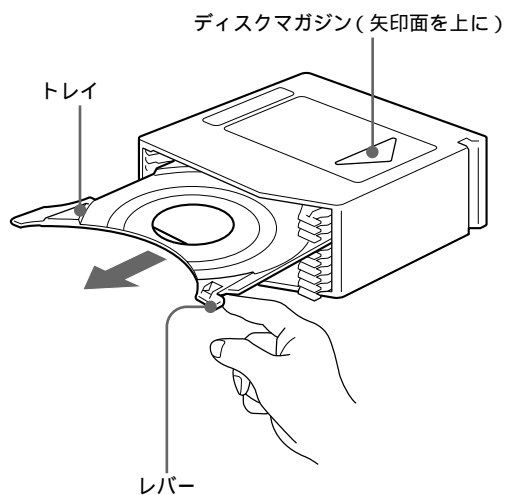
⊕と⊖の向きを合わせて、単3形乾電池（R6、付属）2個を入れる。

ご注意

- 乾電池の使いかたを誤ると、液漏れや破裂のおそれがあります。次のことを必ず守ってください。
 - ⊕と⊖の向きを正しく入れてください。
 - 新しい乾電池と使った乾電池、または種類の違う乾電池を混ぜて使わないでください。
 - 乾電池は充電しないでください。
 - 長い間リモコンを使わないときは、乾電池を取り出してください。
 - 液漏れしたときは、電池入れについた液をよく拭き取ってから新しい乾電池を入れてください。
- リモコンを使うときは、リモコンセンサーの受光部に直射日光や照明器具などの強い光が当たらないようにご注意ください。リモコンで操作できなくなることがあります。
- ダッシュボードの上やハンドルの上など、直射日光の当たるところにリモコンを放置しないでください。熱によりリモコンが変形するおそれがあります。（特に夏期の直射日光の当たるダッシュボードの上はかなり高温になりますのでご注意ください。）
- 直射日光の当たるところに駐車するときは、リモコンをグローブボックスの中など直射日光の当たらないところに保管してください。
- 直射日光下ではリモコンの信号が受信されにくくなることがあります。このようなときは、リモコンセンサーの受光部にリモコンを近づけて操作してください。

本機にディスクを入れる

1 ディスクマガジンからトレイを1枚ずつ引き出す。

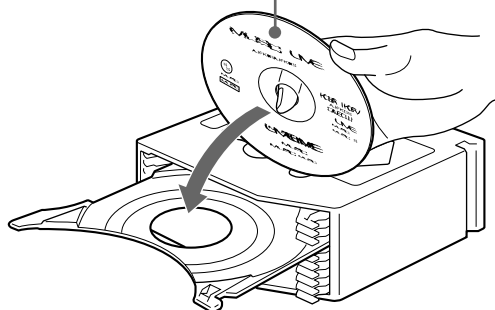


ご注意

ディスクの落下防止のためにトレイは1枚ずつ引き出してください。

2 ディスクマガジンにディスクを入れる。

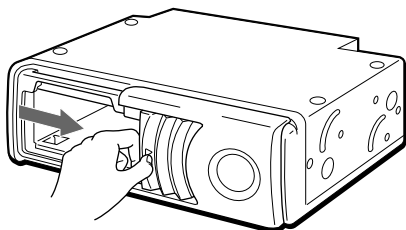
ラベル面を下にして入れます。



各トレイに1枚ずつ (10枚まで)

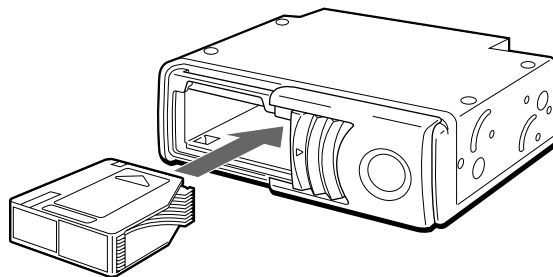
💡 両面DVDディスクの場合は
再生したい面を上に入れてください。

3 カチッというまで、ドアを右方向に開く。



けがの原因となりますので、DVDチェンジャーの内部に手を入れないでください。

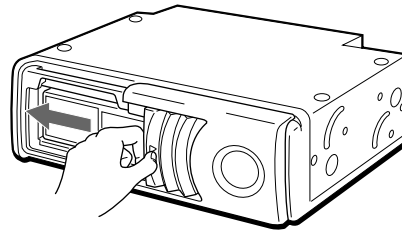
4 ディスクマガジン DVDチェンジャーに入れる。



ご注意

- ディスクマガジンが確実にロックするまで押し込んでください。
- ほこりや異物が入るとDVDチェンジャー内部の読み取りレンズが汚れます。

5 カチッというまでドアを閉め、完全にロックする。
DVDチェンジャー内のディスク確認が始まります。



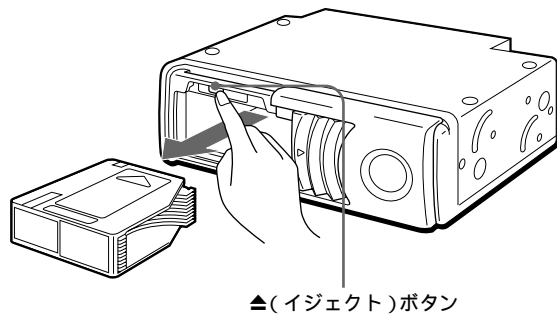
ご注意

8cmディスクは本機で再生できません。

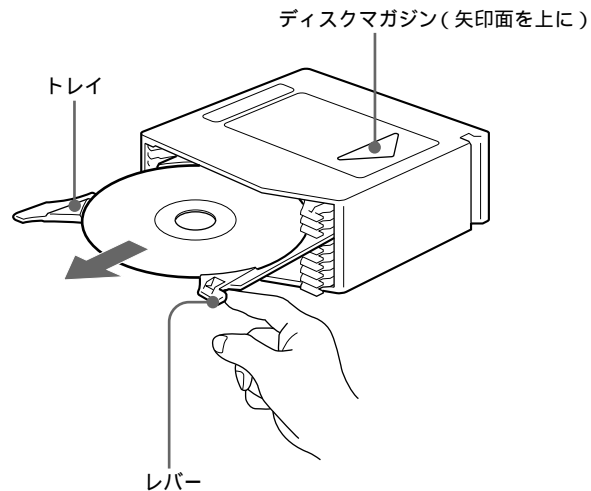
次のページへつづく

ディスクを取り出す

- 1 DVDチェンジャーからディスクマガジンを取り出す。

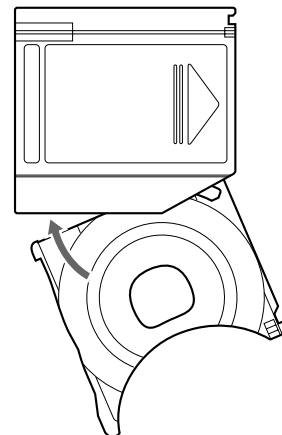


- 2 ディスクマガジンからディスクを取り出す。



トレイがディスクマガジンからはずれてしまったら

通常トレイはディスクマガジンからはずれないように
なっています。もしはずれ
てしまった場合は、右図の
ようにトレイの切り込みの
あるほうを自分のほうに向
けて右端をディスクマガジ
ンに差し込んでから、左端
をカチッと音がするまで差
し込んでください。



ご注意

トレイは必ず表裏正しく差し込むように
してください。

送信周波数を設定する

本機ではディスクの音声をカーオーディオのFMチューナーで聞きます。そのため、本機で設定している(本機からFMチューナーへ送信する)周波数と同じ周波数のFM放送があると、ディスク再生時に雑音が入ることがあります。その場合は付属のFMモジュレーターの設定周波数を切り換えてください。FMモジュレーターの周波数切り換えについては別冊の「取り付けと接続」をご覧ください。お買い上げ時は、88.9MHzに設定されています。

- 1 ディスクを入れる(15ページ)。
- 2 カーオーディオでFM放送を受信する。
- 3 カーオーディオの周波数を合わせる。
付属のFMモジュレーターに合わせ88.9MHzか88.3MHzに設定します。
- 4 モニターの電源を入れ、「ビデオ」入力にする。
- 5 ディスクを再生する(18ページ)。

再生する

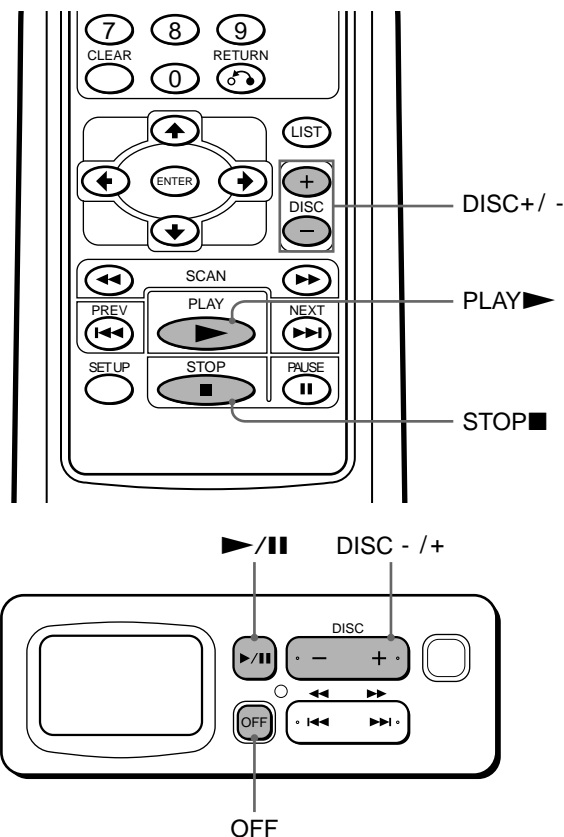
ここでは、DVD、ビデオCD、音楽用CDの基本的な再生のしかたを説明します。

ディスクを再生する

次の準備が終わっていることを確認してください。

- ワイヤレスリモコンに電池を入れる
- 本機にディスクマガジンを入れる
- FMモジュレーターの周波数を合わせる

ディスクによっては、いくつかの操作が異なることや、禁止されていることがあります。再生するディスクに付属の説明書も必ずご覧ください。



- 1 ディスク確認が終わったことを確認する。
ディスク確認が終わるとワイヤードリモコンの液晶が消えます。
- 2 ワイヤードリモコンの▶/|| (電源入) ボタンを押す。
- 3 DISCボタンの+または-で再生したいディスクを選ぶ。
+ : 押すたびに下のトレイを選ぶ
- : 押すたびに上のトレイを選ぶ
ディスクの再生が始まります。
ディスク一覧を表示して選ぶこともできます (29ページ)。
- 4 カーオーディオで音量や音質を調整する。
DVD、ビデオCDを再生する時は、モニターの画像調整もおこなってください。

ディスク確認が終わる前に再生を始めるには

ワイヤードリモコンの▶/■(電源入)ボタン(またはワイヤレスリモコンのPLAY▶ボタン)を押す。
ディスクマガジン内1枚目のディスクの再生が始まります。

電源を切るときは

ワイヤードリモコンのOFFボタンを押す。

再度、電源を入れる(再生を始める)場合は、ワイヤードリモコンの▶/■(電源入)ボタンを押してください。

ご注意

- ワイヤードリモコンの液晶またはモニターの「ディスクチェック中...」表示が消える前に、ワイヤードリモコンの▶/■(電源入)ボタン(またはワイヤレスリモコンのPLAY▶ボタン)を押すと、作成中のディスク一覧は中断されます。
詳しくは「ディスク一覧を表示する(28ページ)」をご覧ください。
- 再生するディスクを切り換えた際、大きな音が出たり、小さな音で聞こえなくなる場合があります。これは、ディスクによって記録された音量が異なるためで、本機の故障ではありません。
- ディスクによって記録されている音量が異なります。
再生するディスクごとに音量を調整してください。
- 再生中、ワイヤードリモコンのOFFボタンで電源を切らないでください。メニュー設定が解除されることがあります。
電源を切るときは、ワイヤレスリモコンのSTOP■ボタンを押して再生を停止させてから、ワイヤードリモコンのOFFボタンを押してください。
- DISCボタンの+または-でディスクを選ぶときに、ディスクの入っていないトレイは飛ばされます。
- DVDは、タイトルメニューやDVDメニューが表示されるものがあります。くわしくは「DVDのメニューを使う(33ページ)」をご覧ください。
- ビデオCDは、PBCメニューが表示されるものがあります。くわしくは「プレイバックコントロール機能を使う(36ページ)」をご覧ください。

DTS音声を再生するときのご注意

- DVDのDTS音声信号は光デジタル音声出力端子からのみ出力されます。アナログ音声出力端子からは出力されません。
- DTS音声を再生するとき、設定画面の「デジタルアウト」を「Bitstream」に設定してください。「LPCM」に設定すると音が出ません。くわしくは「デジタルアウトを設定する(42ページ)」をご覧ください。

いろいろな操作方法

こんなときは	こうする
止める	STOP■ボタンを押す
途中で止める	PAUSE■ボタンを押す
途中で止めたあと、つづきを再生する	PAUSE■ボタンまたはPLAY▶ボタンを押す
再生中にチャプターや映像、曲を進める	NEXT▶▶ボタンを押す
再生中にチャプターや映像、曲を戻す	PREV◀◀ボタンを押す
ディスクを換える	DISC +/- ボタンを押す
早送りする ^{*1}	SCAN▶▶ボタンを押す
早戻しする ^{*2}	SCAN◀◀ボタンを押す

^{*1} DVD、ビデオCDの場合は、早送りの速さが選べます。くわしくは「速さを変えて再生する(23ページ)」をご覧ください。

^{*2} DVDの場合は、早戻しの速さが選べます。くわしくは「速さを変えて再生する(23ページ)」をご覧ください。ビデオCDは早戻しできません。

ご注意

DVDによっては、再生中、ワイヤードリモコンの◀◀/▶▶ボタンを押しても「現在この操作は出来ません」と表示され、チャプターサーチできないディスクがありますが、ワイヤレスリモコンのPREV◀◀/NEXT▶▶ボタンでは動作します。

リジューム再生について

再生中、ワイヤードリモコンのOFFボタンまたはワイヤレスリモコンのSTOP■ボタンを押すと、本機は、再生を止めた位置をメモリーします。これをリジューム再生機能と呼びます。ワイヤレスリモコンのSTOP■ボタンで再生を止めると、DVD/ビデオCDの場合はモニターに「リジューム待機.....」が表示され、音楽用CDの場合は、再生を止めたときの演奏時間が表示されたままとなります。PLAY▶ボタンを押すと、再生を止めた続きから、再生が始まります。

ご注意

- DVDによってはリジューム再生ができない場合があります。
- シャッフルまたはプログラム再生中、リジューム再生はできません。
- 再生を止めたところによっては、リジューム再生の始まりがずれることがあります。
- 次の場合、再生を止めたところの記録は消えます。
 - 再度、STOP■ボタンを押したとき
 - ディスクマガジンをイジェクトした後、再度挿入したとき
 - 本機からディスクを取り出したとき
 - プレイモードを換えたとき
 - タイトルやチャプター、トラックを選んでから、再生を始めたとき
 - 設定画面で設定を変更したとき

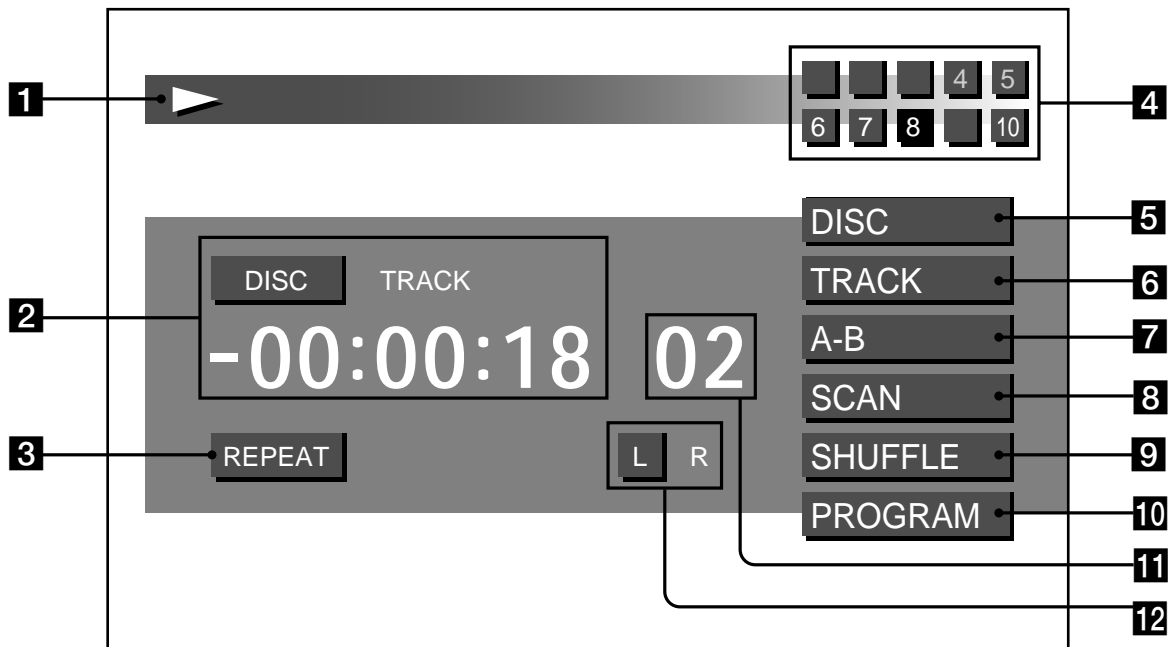


ディスクを最初から再生したいときは




リジューム待機中、もう一度STOP■ボタンを押して「リジューム待機.....」表示を消すか、トラック番号を「01」表示にし演奏時間表示を「00:00:00*」にして、PLAY▶ボタンを押します。DVDはチャプター1の頭、ビデオCDはディスクの頭、音楽用CDは1曲目の頭から再生が始まります。

次のページへつづく

音楽用CDの操作画面 



1 アイコン表示

アイコン表示	状態
	再生中
	停止時 / リジューム待機中
	一時停止時
	早送り中
	早戻し中
	前の曲の頭出し
	後の曲の頭出し

2 演奏時間 (経過時間 / 残り時間) 表示 (30ページ)
残り時間には「-」が表示される

DISC : ディスク経過時間 / ディスク残り時間を表示時に点灯する

TRACK : トラック経過時間 / トラック残時間を表示時に点灯する

3 5 ディスクリピート演奏時に点灯する (21ページ)

3 6 トラックリピート演奏時に点灯する (21ページ)

3 7 A-Bリピート演奏時に点灯する (22ページ)

4 マガジン内に入っているディスクの一覧表

ディスクトレイの状態	トレイ番号	背景色
現在選ばれている音楽CDが入っている	黒	黄色
現在選ばれていない音楽CDが入っている	緑	青
音楽用CD以外のディスクが入っている	白	青
ディスクが入っていない または本機で再生できない ディスク	表示なし	青

8 イントロスキップ演奏時に点灯する (27ページ)

9 シャッフル演奏時に点灯する (27ページ)

10 プログラム演奏時に点灯する (26ページ)

11 現在のトラック番号

12 音声出力方法表示 (36ページ)

L : モノラル (左) 出力時に点灯する

R : モノラル (右) 出力時に点灯する

L R : ステレオ出力時に点灯する

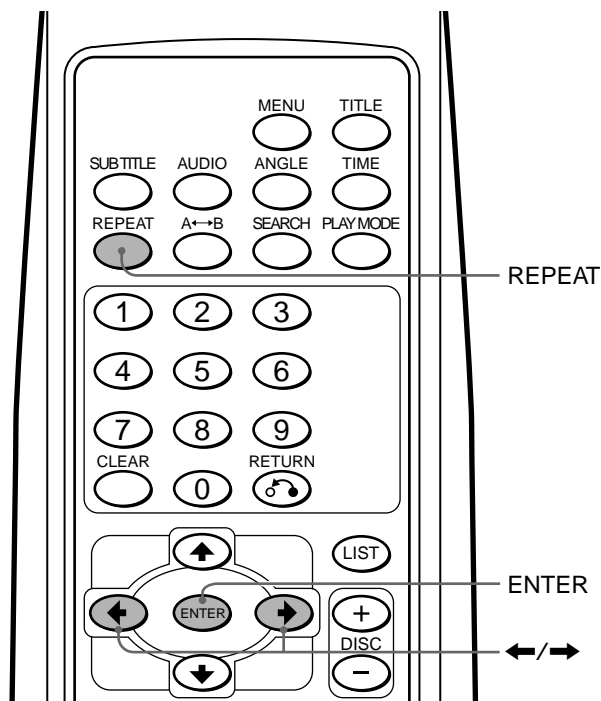
繰り返し再生する

ーリピート再生 / A-Bリピート再生 **DVD VCD CD**

ディスクのすべてのタイトルまたはトラック、または1つのタイトル / チャプター / トラックを繰り返し再生できます (リピート再生)。

また、再生したい部分を指定して、繰り返し再生することもできます (A-Bリピート再生)。語学学習や歌詞を覚えるときに便利です。

繰り返し再生する (リピート再生)



1 再生中、REPEATボタンを押す。

画面上部に、下記のようにリピートモードが約5秒間表示されます。背景の色が黄色のモードが現在選ばれているモードです。

■DVD

リピート	切	タイトル	チャプター
------	---	------	-------

■ビデオCD

リピート	切	ディスク	トラック
------	---	------	------

2 REPEATボタンで、リピートの種類 (タイトル / チャプター / ディスク / トラック) を選ぶ。

REPEATボタンを押すたびに、カーソル (黄色) が移動します。



- 手順2の選択には←/→を使うこともできます。
- 手順2の後、すぐにリピートモード表示を消したい場合は、ENTERボタンを押して下さい。

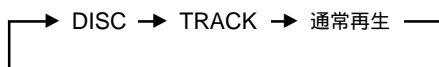
リピート再生をやめるときは

手順2で「切」を選びます。

■音楽用CD

再生中、REPEATボタンを押して、好きなリピートモード (DISC / TRACK) を選ぶ。

REPEATを押すたびに、次のようにモードが切り換わります。



音楽用CDの操作画面に「REPEAT」が点灯し、選んだモードに合わせ、右側の「DISC」または「TRACK」表示の色が変わります。

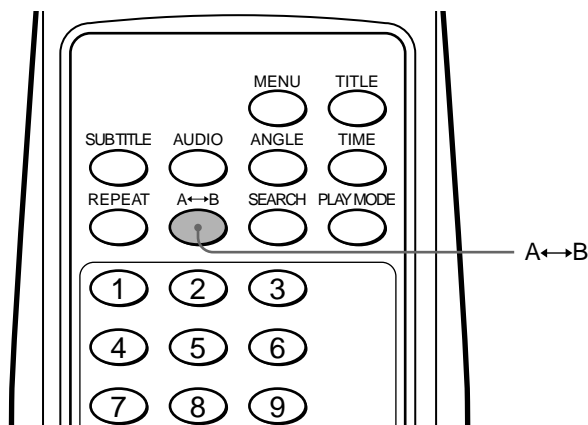
くわしくは、「音楽用CDの操作画面 (20ページ)」をご覧ください。

ご注意

- リピート再生は、以下の場合に解除されます。
 - ー 本機からディスクを取り出したとき
 - ー ディスクチェンジをしたとき
- DVDによってはリピート再生ができない場合があります。
- ディスクや場面によっては、「現在この操作は出来ません」が表示され、リピート再生ができないことがあります。

次のページへつづく

再生したい部分だけを繰り返す
(A-Bリピート再生)



- 1 リピート再生を開始したい場面 / 場所になったときに、A↔Bボタンを押す(開始点の設定)。

■DVD / ビデオCD

画面上部に「A-」が表示されます。

■音楽用CD

音楽用CDの操作画面「A-B」表示の「A-」部分の色が変わります。

- 2 リピート再生を終了したい場面 / 場所になったときに、A↔Bボタンを押す(終了点の設定)。

■DVD / ビデオCD

表示が「A-B」に変わります。

■音楽用CD

音楽用CDの操作画面「A-B」表示の「B」部分の色が変わり、「REPEAT」が点灯します。

A-Bリピートをやめるときは

もう一度A↔Bボタンを押す。

■DVD / ビデオCD

画面上部に「A-B 切」が約1秒間表示されます。

■音楽用CD

「A-B」表示の文字が白色になり、「REPEAT」が消えます。

ご注意

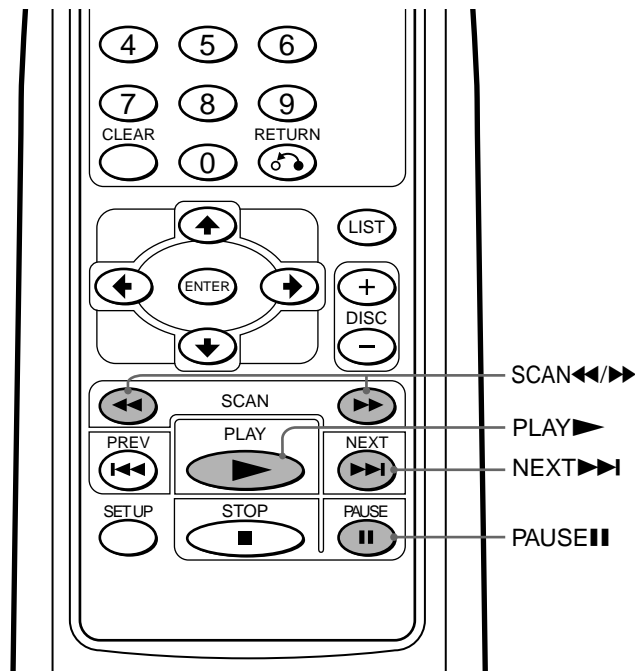
- A-Bリピート再生は、同一タイトル内(DVDの場合)、同一トラック内(ビデオCD / 音楽用CDの場合)で範囲を指定することができます。手順2をおこなう前に、タイトル/トラックが終了した場合は、タイトル/トラックの終了点が、A-Bリピート再生の終了点となります。
- DVD / ビデオCDの「A-B」表示は、約1秒後に消えます。リピート再生の開始点に戻ると、「A-B」表示が約1秒間表示されます。
- A-Bリピートが設定できるのは1か所のみです。
- 設定したA-Bリピートは、次の場合に解除されます。
 - ー 本機からディスクを取り出したとき
 - ー ディスクチェンジをしたとき
- A-Bリピートを設定すると、イントロスキップ再生やリピート再生は解除されます。
- DVD、ビデオCDの場面によっては、A-Bリピートの設定ができないことがあります。



「音楽用CDの操作画面(20ページ)」も合わせてご覧ください。

速さを変えて再生する

ディスクをいろいろな速さで再生したりコマ送りすることができます。



早送り / 早戻し再生する

再生中、SCAN◀◀またはSCAN▶▶ボタンを押す。

早送りの場合：SCAN▶▶ボタンを押す

早戻しの場合：SCAN◀◀ボタンを押す

早送り / 早戻し速度を上げるには

SCAN◀◀またはSCAN▶▶ボタンを押すごとに、2倍、4倍、8倍、16倍、32倍と、早送り / 早戻し速度が切り換わります。

早送り / 早戻し速度を下げるには

早送り中はSCAN◀◀ボタンを、また、早戻し中はSCAN▶▶ボタンを押す。押すごとに、速度が下がり、2倍の時に押すと、通常再生に戻ります。

通常の再生に戻すには

PLAY▶ボタンを押す。

ご注意

- 音楽用CDでは、早送り / 早戻し速度は変えられません。
- 早送り / 早戻し再生中は、音声は出ません。
- DVD、ビデオCDによっては操作が禁止されている場合があります。
- DVD、ビデオCDは、ディスクによって、早送り / 早戻しできない場所があり、その場所にくると、自動的に通常再生に戻ります。
- 音楽用CDは、早送りしてディスクの終わりにくると、ディスクマガジン内の次のディスクが選ばれます。また、早戻しして、ディスクの初めにくると、1トラック目の再生を始めます。

スロー再生する

1 再生中、PAUSE||ボタンを押す。

画像が一時停止(静止)します。

2 SCAN▶▶ボタンを押す。

スロー再生になります。

3 SCAN◀◀または▶▶ボタンを押して、スロー再生速度を選ぶ。

ボタンを押すごとに、4段階(1/16 ↔ 1/8 ↔ 1/4 ↔ 1/2)に調節できます。

1/16のときにSCAN◀◀ボタンを押すと静止画面になります。

通常の再生に戻すには

PLAY▶ボタンを押す。

ご注意

- ワイヤードリモコンの▶▶ボタン(▶▶ボタンの長押し)でスロー再生はできません。◀◀/▶▶ボタンの長押しをすると一時停止は解除され、早戻し / 早送り再生となります(速度は2倍速のみ)。
- スロー再生中、音声は出ません。
- ディスクまたは再生位置によっては、“現在この操作は出来ません”が表示され、スロー再生ができないことがあります。
- ディスクによっては、スロー再生時、映像が乱れることがあります。

コマ送り再生する

1 再生中、PAUSE||ボタンを押す。

画像が一時停止(静止)します。

2 NEXT▶▶ボタンを押す。

押すたびに、映像を1コマずつ再生します。

通常の再生に戻すには

PAUSE||ボタンまたはPLAY▶ボタンを押す。

ご注意

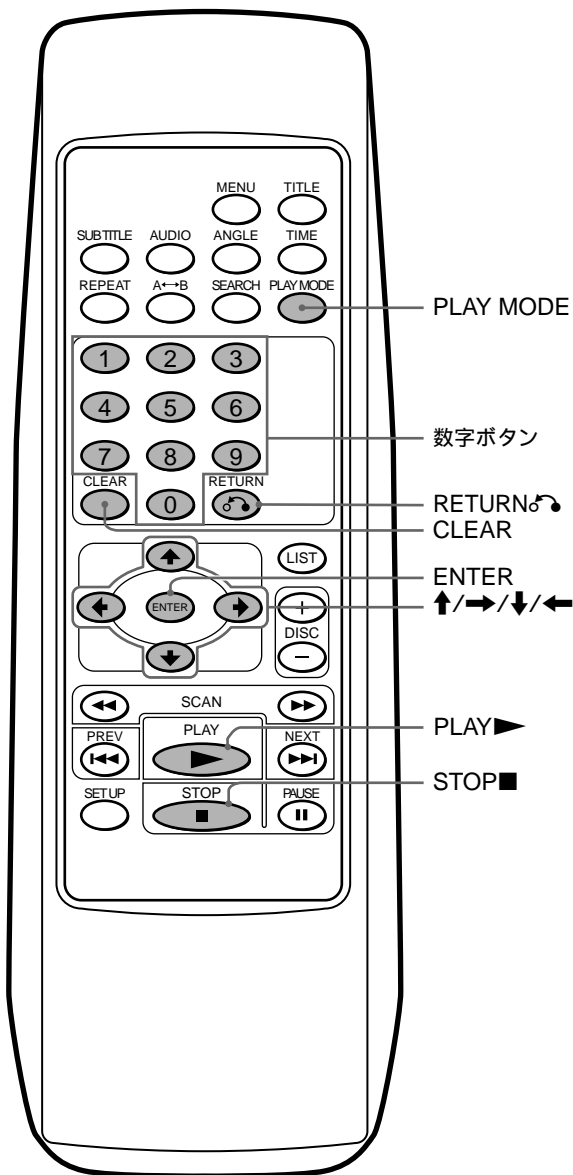
- ワイヤードリモコンの▶▶ボタンでコマ送り再生はできません。▶▶ボタンを押すと一時停止は解除され、チャプターサーチ、トラックサーチとなります。
- コマ送り再生中は、音声は出ません。
- ディスクまたは再生位置によっては、“現在この操作は出来ません”が表示され、コマ送り再生ができないことがあります。
- ディスクによっては、コマ送り再生時、映像が乱れることがあります。
- コマ戻し再生はできません。(PREV◀◀ボタンは効きません。)

好きな順に再生する

—プログラム再生

ディスク内のトラックを好きな順に選んでプログラムリストを作り、再生することができます。最大20個のトラックが登録できます。

プログラムリストを作成する



1 STOP■ボタンを押して、再生を止める。

2 PLAY MODEボタンを押す。

プログラムリスト画面(25ページ)になります。

3 数字ボタン(0~9)で、トラック番号を入力する。

再生する順にトラック番号を入力してください。

↑/↓ ボタンで入力することもできます。その場合は、

↑または↓ ボタンを押すごとに数字は増減します。

例)「12」を入力する

① ①を押す。

入力数字表示部に「- 1」が表示されます。



② ②を押す。

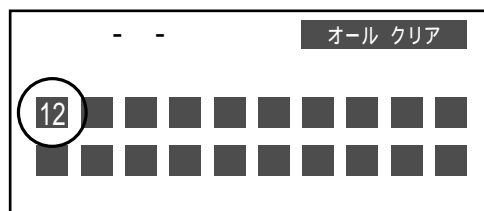
入力数字表示部の「1」のとなりに「2」が表示されます。



入力を間違った場合は、そのまま続けて正しい数字を入力し直してください。数字は上書きされます。

4 ENTERボタンを押す。

プログラムリストに「12」が表示されます。

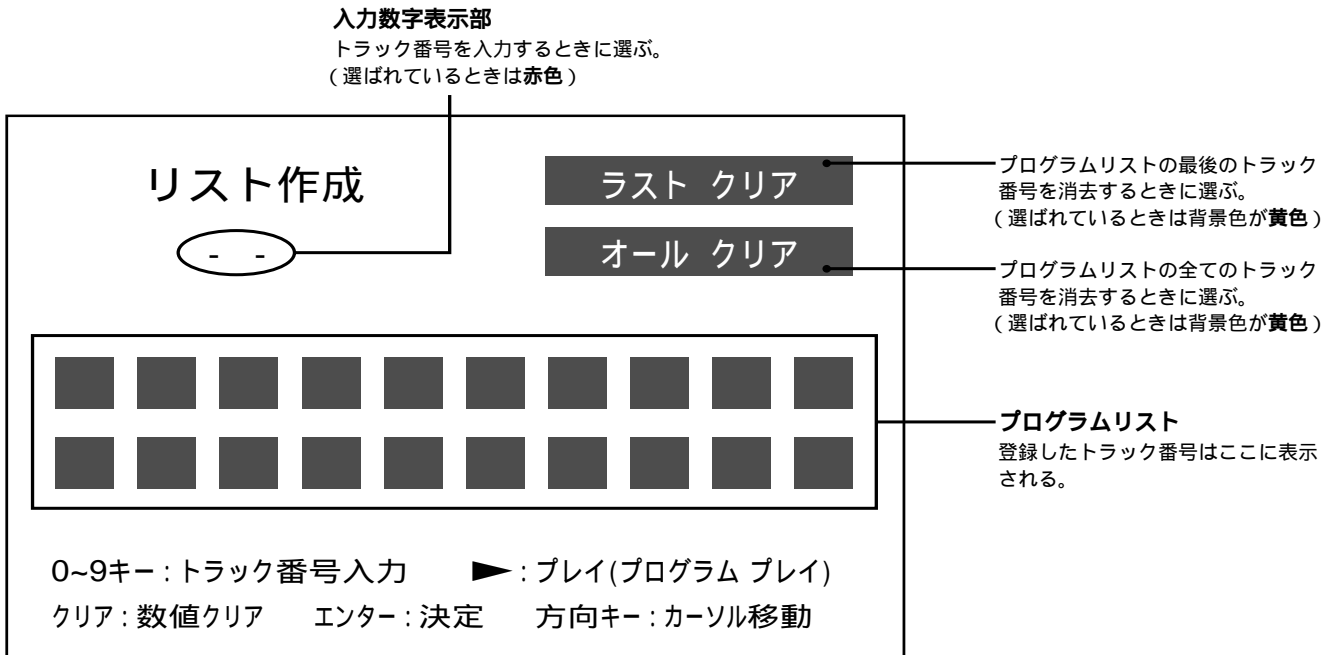


5 手順3、4を繰り返して、再生したい順にトラック番号を登録する。

20個まで登録できます。

PLAY▶ボタンを押すと、プログラム再生が始まります。

プログラムリスト画面



ご注意

- 手順3で“12”と入力したが、“8”に変更する場合は、“08”と入力してください。入力数字は“- 8”と表示されます。
- ディスクに記録されていないトラック番号は登録できません。
- プログラムリストの登録内容は、下記の場合に消去されます。
 - ー 本機からディスクマガジンをイジェクトしたとき
 - ー ディスクマガジン内の他のディスクを選んだとき

プログラムリストの作成を途中で止める場合は

RETURN↵ボタンを押してください。画面が操作画面に戻ります。この後、PLAY▶ボタンを押すと、再生を止めた続きから再生を始めます。

プログラムリストを消去するには

最後のトラック番号を消去する

- ープログラムリスト作成画面表示時に、CLEARボタンを押す。
- ープログラムリスト作成画面で、「ラスト クリア」を選び、ENTERボタンを押す。

全てのトラック番号を消去する

- プログラムリスト作成画面で、「オール クリア」を選び、ENTERボタンを押す。

カーソル操作

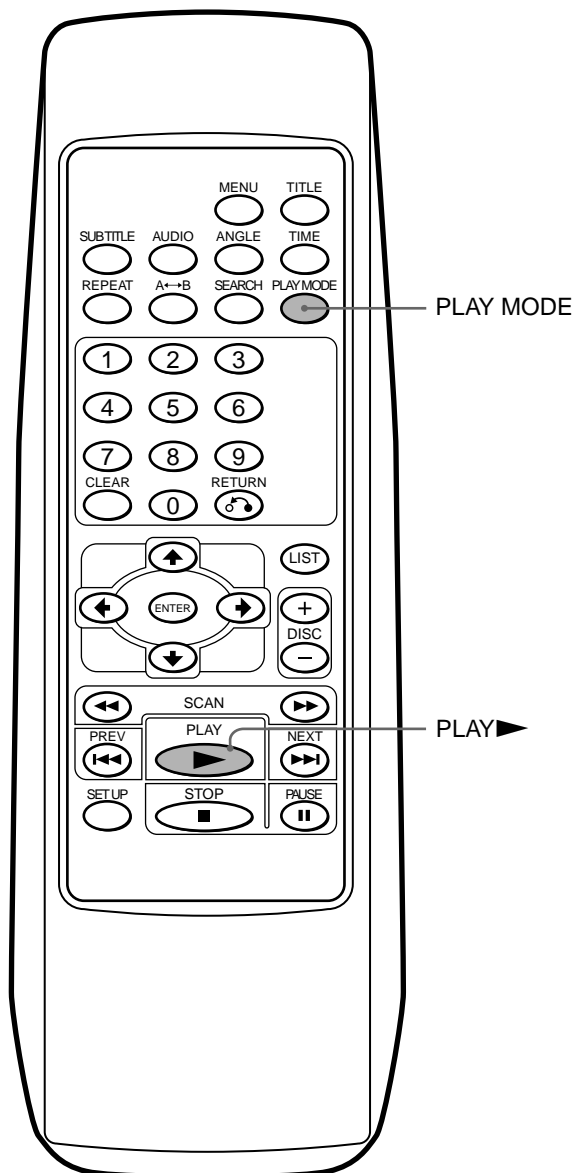
入力数字表示部 / ラスト クリア / オール クリアの選択は、↑/→/↓/←ボタンでおこないます。

こんなときは	こうする
入力数字表示部⇔ラスト クリア	←または→ボタンを押す
ラスト クリア⇔オール クリア	↑または↓ボタンを押す
入力数字表示部⇔オール クリア	←ボタンを押す
入力数字表示部⇒オール クリア	入力数字表示部⇒ ラスト クリア⇒オール クリア

次のページへつづく

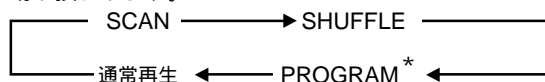
プログラム再生する

再生する



- 1 再生中、PLAY MODEボタンを繰り返し押し、
「PROGRAM」を選ぶ。
音楽用CDの操作画面「PROGRAM」表示の色が変わります。

PLAY MODEボタンを押すたびに下記のようにモードが切り換わります。



- * プログラムリストが作成されている場合のみ現われる。
くわしくは「プログラムリストを作成する(24ページ)」をご覧ください。

- 2 PLAY▶ボタンを押す。
プログラムリストに登録されているトラック順に再生が始まります。

プログラム再生をやめるときは

PLAY MODEボタンを繰り返し押し、通常再生にする。



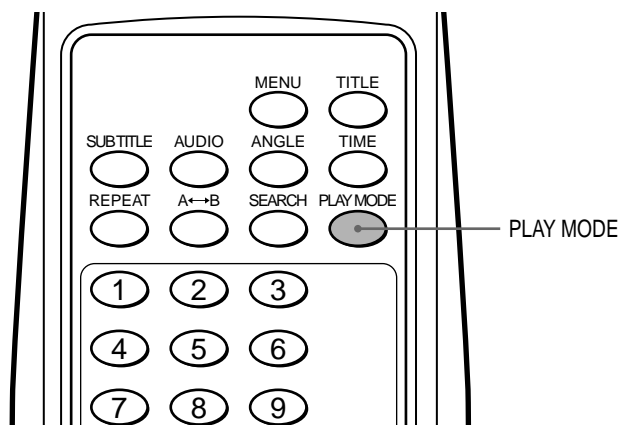
- プログラムリストの最後のトラックの再生が終わると、停止状態になります。
- プログラム再生が終わっても、プログラムは保存されています。
PLAY▶ボタンを押すと、同じプログラムをもう1度再生します。
- 「音楽用CDの操作画面(20ページ)」も合わせてご覧ください。

順不同に再生する

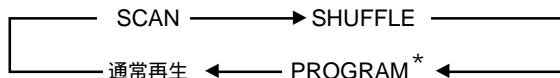
—シャッフル再生

ディスク上のトラック番号に関係なく、本機が自動的に順番を選んで、ひと通り再生します。再生する順番は、「シャッフル」を選ぶたびに変わります。

全トラックを再生し終わると、マガジン内の次のディスクが選ばれます。



再生中、PLAY MODEボタンを繰り返し押して、「SHUFFLE」を選ぶ。
音楽用CDの操作画面「SHUFFLE」表示の色が変わります。
PLAY MODEボタンを押すたびに下記のようにモードが切り換わります。



* プログラムリストが作成されている場合のみ現われる。
くわしくは「プログラムリストを作成する(24ページ)」をご覧ください。

シャッフル再生をやめるときは

PLAY MODEボタンを繰り返し押し、通常再生にする。

ご注意

シャッフル再生は、次の場合に解除されます。

- 本機からディスクを取り出したとき

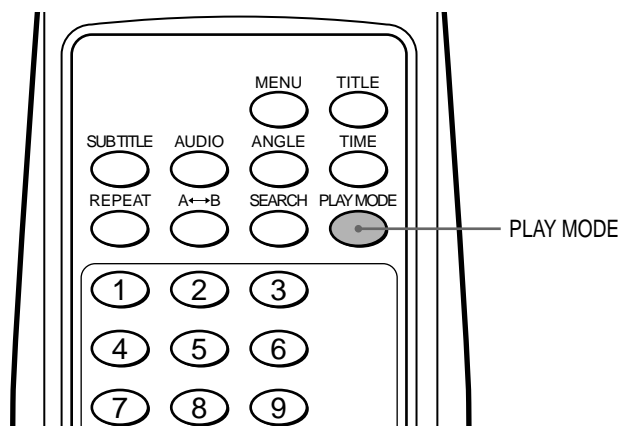


「音楽用CDの操作画面(20ページ)」も合わせてご覧ください。

曲の出だし部分を再生する

—イントロスキップ再生

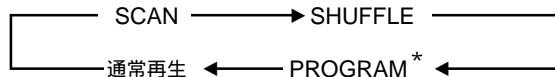
ディスク内のトラックの頭(イントロ)を約10秒間再生して、次のトラックへ移る動作を繰り返します。



再生中、PLAY MODEボタンを繰り返し押して、「SCAN」を選ぶ。

音楽用CDの操作画面「SCAN」表示の色が変わります。

PLAY MODEボタンを押すたびに下記のようにモードが切り換わります。



* プログラムリストが作成されている場合のみ現われる。
くわしくは「プログラムリストを作成する(24ページ)」をご覧ください。

ご注意

イントロスキップ再生は、次の場合に解除されます。

- 本機からディスクを取り出したとき
- ワイヤードリモコンのOFFボタンを押して電源を切ったとき
- ディスクチェンジをしたとき



「音楽用CDの操作画面(20ページ)」も合わせてご覧ください。

いろいろな操作

ここではOSD画面を使ったいろいろな再生のしかたや、便利な機能の使いかたを説明します。

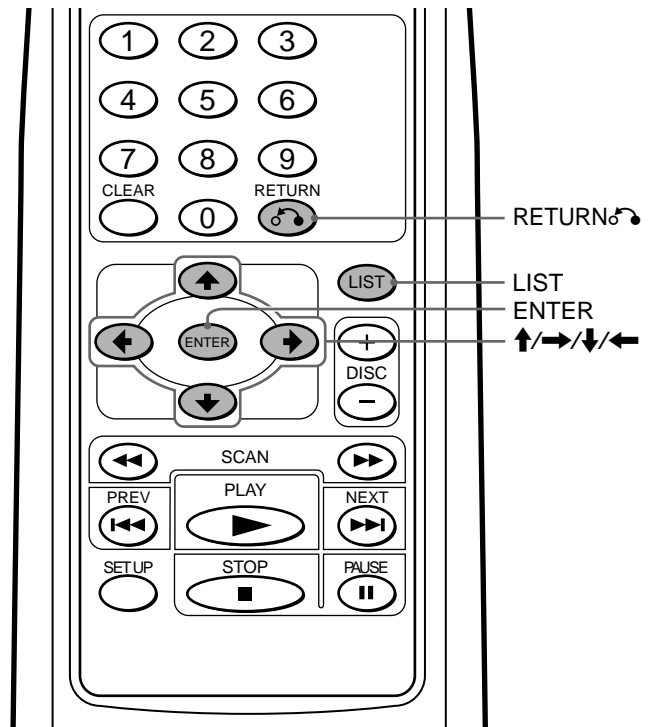
ディスク一覧を表示する

DVD VCD CD

ディスクマガジン内に入っているディスクの一覧を表示して、ディスクの種類(DVD/ビデオCD/音楽用CD)を確認したり、好きなディスクを選んで再生することができます。また、再生するディスクの種類(DVD/ビデオCD/音楽用CD)を限定することもできます。

ディスク一覧について

ディスクマガジンを挿入すると、本機は各トレイのディスクを確認して、ディスク一覧を作成します。作成途中にワイヤードリモコンの▶/|| (電源入) ボタン(またはワイヤレスリモコンのPLAY▶ ボタン)を押すと、作成を中断して、1枚目のディスクを再生します。ディスク一覧の作成を中断した時点でディスクの確認ができていなかったトレイは、1度このトレイが選ばれるまでは、トレイ番号のみ表示します。



LISTボタンを押す。
ディスク一覧画面(29ページ)になります。

ディスク一覧画面(例)



“◀▶”のついているディスクのみ再生します。

例)

「DVD」に“◀▶”がついている：DVDは再生される。
「Video CD」に“◀▶”がついていない：ビデオCDは再生されない。
「Audio CD」に“◀▶”がついている：音楽用CDは再生される。

マガジンのトレイ番号とそのトレイに入っているディスクの種類を表示します。

キズなどで再生できないディスクが入っている、またはディスクが入っていない場合は、“-”が表示されます。

例)

トレイ1、2、6：DVDが入っている。
トレイ3、4：音楽用CDが入っている。
トレイ7、8：ビデオCDが入っている。
トレイ5、9、10：キズなどで再生できないディスクが入っているか、ディスクが入っていない。



- DVDにディスク名が記録されている場合は、「DVD」の後にディスク名が表示されます。
- ディスクの有無がまだ確認できていないトレイは、トレイ番号のみ表示します。

ご注意

トレイ番号のみ表示されているディスクの場合、「◀▶」表示、非表示にかかわらず再生されます。

ディスク一覧画面表示を止めるには

LISTボタンまたはRETURN/↵ボタンを押す。

好きなディスクを選んで再生するには

- ↑/→/↓/←ボタンで、ディスク一覧の中から再生するディスクの入っているトレイを選ぶ。
選ばれたトレイの背景色は黄色になります。

黄色



- ENTERボタンを押す。
選んだディスクが再生されます。

再生するディスクの種類を設定するには

- ↑/→/↓/←ボタンで、設定を変えるディスクの種類 (DVD / Video CD / Audio CD) を選ぶ。
選ばれたディスク種類表示の背景色は黄色になります。



黄色

- ENTERボタンを押す。
ENTERボタンを押すたびに、「◀▶」の表示、非表示が切り換わります。再生する場合は「◀▶」を表示させてください。再生しない場合は「◀▶」を消してください。
- LISTボタンまたはRETURN/↵ボタンを押す。
「◀▶」のついていない種類のディスクを飛ばして再生します。

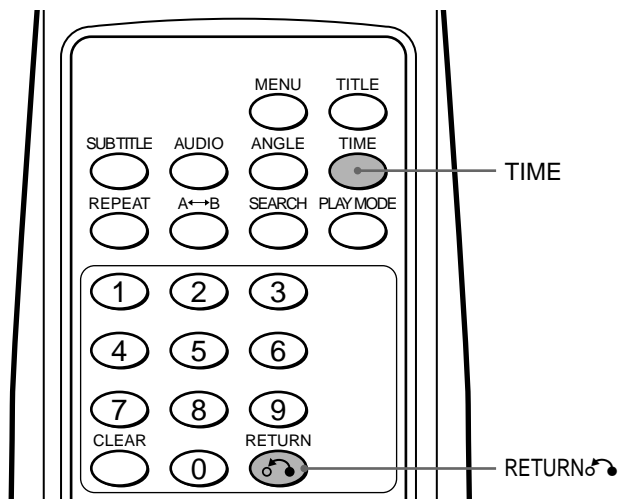
ご注意

この設定は、本機からディスクマガジンを取り出すと解除されます。再度ディスクマガジンを挿入したときは、3つの表示すべてに、「◀▶」がついています。

経過時間と残り時間を見る

再生中のタイトル、チャプター、トラックの経過時間と残り時間、ディスク全体の経過時間と残り時間を表示します。

いろいろな操作

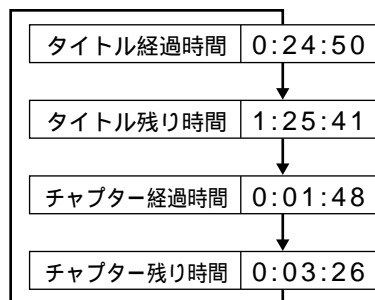


TIMEボタンを押す。

■DVD

画面上部に、再生時間が約5秒間表示されます。

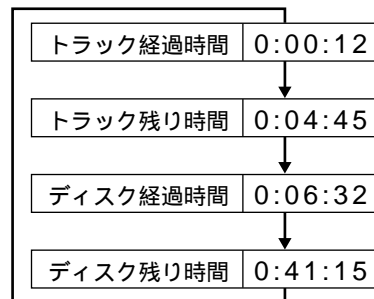
DVD再生時間表示時に、TIMEボタンを押すと、押すたびに、下記のように、表示する再生時間の種類が切り換わります。



再生時間表示は、RETURNボタンを押すと消えます。

■ビデオCD

ビデオCD再生時間表示時に、TIMEボタンを押すと、押すたびに、下記のように、表示する再生時間の種類が切り換わります。

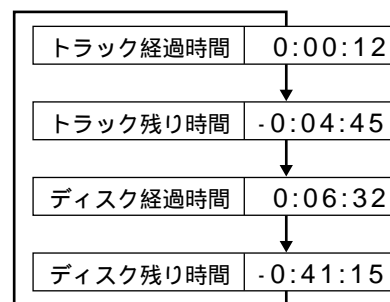


ご注意

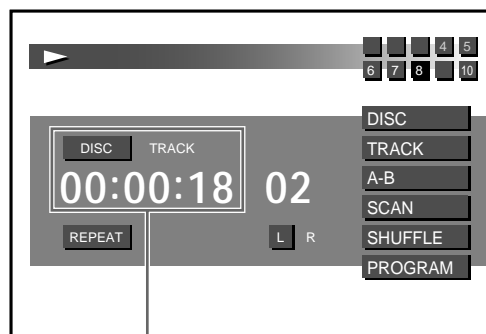
再生の状態によって、表示される時間は変わります。

■音楽用CD

音楽用CD再生中または一時停止時に、TIMEボタンを押すと、押すたびに、下記のように、表示する再生時間の種類が切り換わります。



オーディオ操作画面(例)



ディスク経過時間

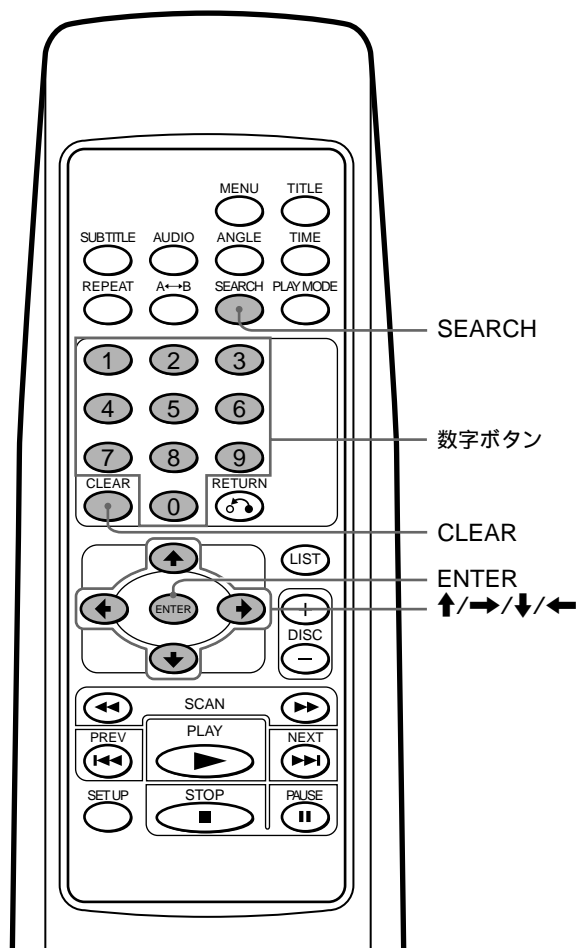


「音楽用CDの操作画面(20ページ)」も合わせてご覧ください。

見たい場面をさがす(タイトル/チャプター/トラック/インデックス/経過時間)

DVD VCD

タイトル/チャプター/トラックを指定して、そこから再生することができます。また、経過時間を入力すると、そこから再生を始めます。



- 1 再生中、SEARCHボタンを押す。
画面上部に、下記のように現在の再生情報が約5秒間表示されます。

■DVD

サーチ	T:01	C:005	タイム:0:23:41
	タイトル番号	チャプター番号	タイトル経過時間

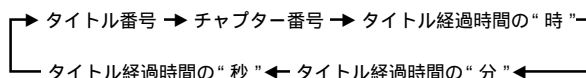
■ビデオCD

サーチ	T:03	タイム:0:01:55
	トラック番号	トラック経過時間

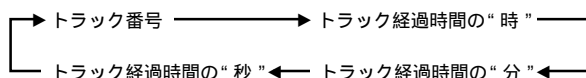
再生情報表示は約5秒後に消えます。この表示が消える前に次の操作をおこなってください。

- 2 再生情報表示時、SEARCHボタンを繰り返し押して、サーチする項目(タイトル番号/チャプター番号/タイトル経過時間/トラック番号/トラック経過時間)を選ぶ。
SEARCHボタンを押すたびに、下記のようにカーソルが移動します。

■DVD



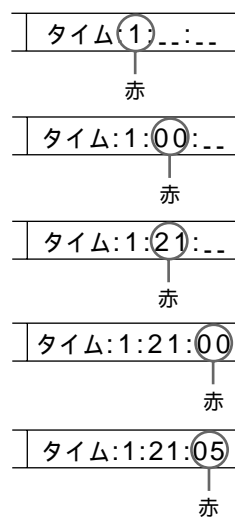
■ビデオCD



- 3 数字ボタン(0~9)で、見たい/聞きたい場所のタイトル番号/チャプター番号/タイトル経過時間/トラック番号/トラック経過時間を入力する。

例)手順2でタイトル経過時間の“時”を選び、“1時間21分05秒”の場所から再生する場合

- ① ①を押す。
タイトル経過時間の「時」に“1”が入力されました。
- ② SEARCHボタンまたは→ボタンを押して、カーソルを「分」に移動させる。
- ③ ②を押し、次に①を押す。
タイトル経過時間の「分」に“21”が入力されました。
- ④ SEARCHボタンまたは→ボタンを押して、カーソルを「秒」に移動させる。
- ⑤ ⑤を押す。
タイトル経過時間の「秒」に“05”が入力されました。



- 4 ENTERボタンを押す。
指定した場所から再生を始めます。

ご注意

ディスクによっては、“現在この操作は出来ません”が表示され、これらのサーチができないことがあります。

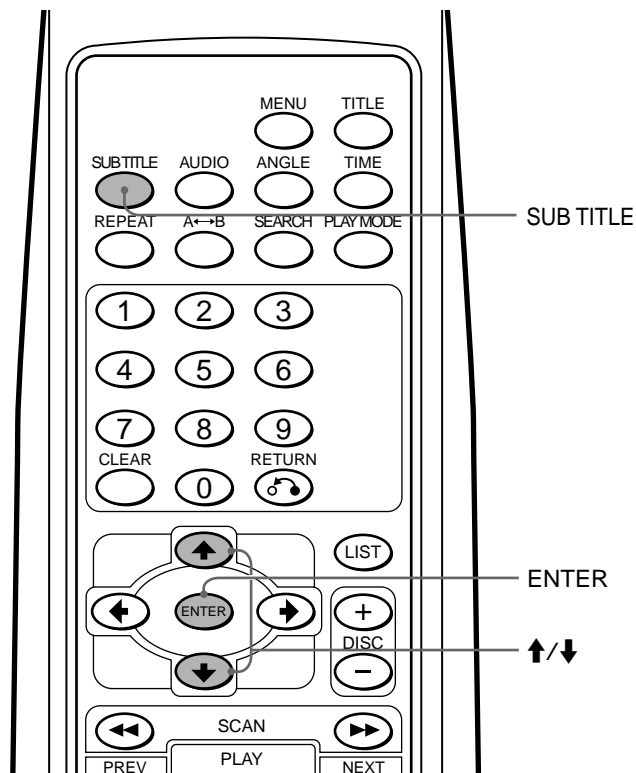


- ・手順2の項目は、←/→ボタンでも選択できます。
- ・手順3の数字は、↑/↓ボタンでも入力できます。
↑: 押すたびに数字が1つつ大きくなる。
↓: 押すたびに数字が1つつ小さくなる。
- ・手順3で入力した数字は、CLEARボタンを押すと消えます。

字幕を表示する

DVDの中には、字幕が記録されているものがあります。字幕は再生中であれば、好きなときに表示したり消したりできます。また、DVDに複数の言語で字幕が記録されているときは、再生中の好きなときに切り換えられます。例えば、字幕を表示して、語学の学習に役立てたりすることができます。

いろいろな操作



ご注意

- 字幕言語の切り換えは、複数の字幕言語が記録されているディスクの場合のみ可能です。
- 字幕言語は、DVDメニューや設定画面でも切り換えられます。ディスクによっては、本操作で字幕言語の切り換えができないものもあります。この場合は、DVDメニューまたは設定画面で切り換えてください。
くわしくは「DVDメニューを使う(33ページ)」、「字幕言語を設定する(41ページ)」をご覧ください。
- 字幕が記録されていないディスクでは、字幕を表示することはできません。
- DVDによっては字幕が記録されていても、字幕表示を禁止している場合があります。
- DVDによっては字幕の言語の種類や数はDVDによって異なります。
- DVDによっては複数の字幕が記録されていても、切り換えを禁止している場合があります。
- DVD再生中、自動的に字幕が切り換わる場合があります。



手順2の字幕言語は、↑/↓ボタンでも選択できます。

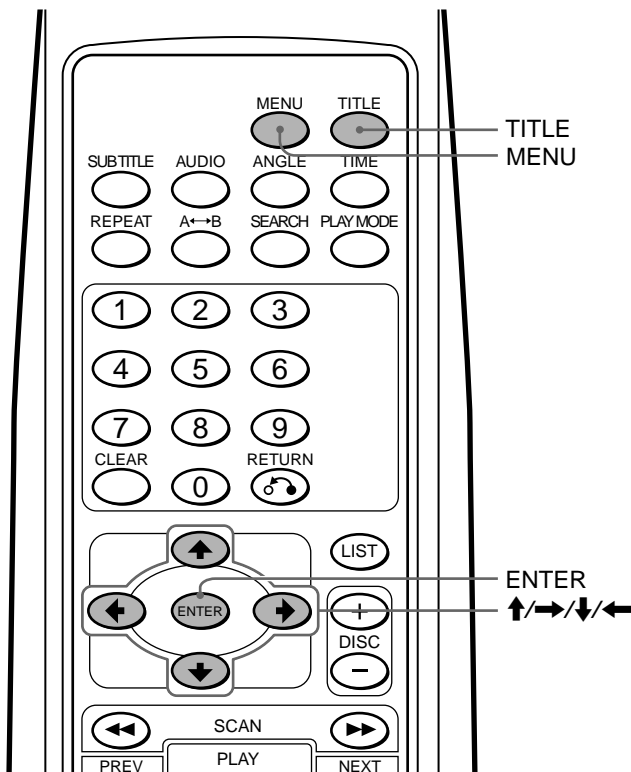
- 1 再生中にSUB TITLEボタンを押す。
画面上部に、現在選ばれている字幕言語が約5秒間表示されます。

例) サブタイトル 02.英語

- 2 字幕言語表示時、SUB TITLEボタンを繰り返し押して、好きな字幕言語または“切(字幕を消す)”を選ぶ。
SUB TITLEボタンを押すたびに、ディスクに記録されている字幕言語リストの中で、字幕言語が切り換わります。
- 3 ENTERボタンを押す。
字幕言語は、ENTERボタンを押さなくても、手順2で選んでから約5秒後(字幕言語表示が消えた後)に自動的に切り換わります。

DVDのメニューを使う

DVDには、タイトルメニューや、DVDメニューのようなDVD独自のメニューが記録されているものがあります。メニュー操作時はワイヤレスリモコンの↑/→/↓/←ボタン、またはENTERボタンで選んでください。(ワイヤードリモコンでは操作できません。)



タイトルメニューを使う

DVDには、複数の映像や曲が記録されたものがあります。これらの映像や曲の大きな区切りをタイトルといいます。複数のタイトル^{*}があるDVDを再生するときは、タイトルメニューで好きなタイトルを選べます。

^{*} DVDに記録されている映像や音声の大きな区切り

- 1 再生中、TITLEボタンを押す。
タイトルメニューが表示されます。タイトルの内容はディスクによって異なります。
- 2 再生したいタイトルを↑/→/↓/←ボタンで選ぶ。
DVDによってはリモコンの数字ボタンでタイトルを選べるものもあります。
- 3 ENTERボタンを押す。
選んだタイトルの再生が始まります。


ご注意

- DVDによっては、タイトルメニューが記録されていないものもあります。また、DVDメニューと同じ場合もあります。
- DVDによっては、タイトルを選ぶことが禁止されている場合があります。
- DVDによっては、「タイトルメニュー」のことを「メニュー」または「タイトル」と表示するものがあります。またENTERボタンを押すことを、「選択ボタンを押す」と表示するものがあります。
- 再生するディスクの説明書も、合わせてお読みください。

DVDメニューを使う

DVDには、ディスクの内容をメニューで選択できるものがあります。このようなDVDを再生するときは、再生したい項目、表示したい字幕の言語、聞きたい音声の言語などをDVDメニューで選べます。

- 1 再生中、MENUボタンを押す。
DVDメニューが表示されます。DVDメニューはDVDにより異なります。
- 2 選びたい項目を↑/→/↓/←ボタンで選ぶ。
DVDによっては、リモコンの数字ボタンで項目を選べるものもあります。
- 3 別の項目に変更したいときは、手順2を繰り返す。
- 4 ENTERボタンを押す。

 DVDメニューで表示される言語を換えるときは設定画面の「DVDメニュー言語を設定する(40ページ)」をご覧ください。

ご注意

- ディスクによっては、DVDメニューが記録されていないものもあります。また、タイトルメニューと同じ場合もあります。
- DVDメニューはディスクに記録されているため、内容はディスクによって異なりますが、例えば、音声言語 / 字幕言語 / チャプターを選択をしたり、映画解説を再生するなどの操作ができます。
- DVDによっては、「DVDメニュー」のことを「メニュー」等と表示するものもあります。また、ENTERボタンを押すことを、「選択ボタンを押す」と表示するものもあります。
- 再生するディスクの説明書も、合わせてお読みください。

DVDメニューの操作を終わる / 途中で止めるには

MENUボタンを押す。
DVDメニューが表示される前の画面の続きから、再生を始めます。

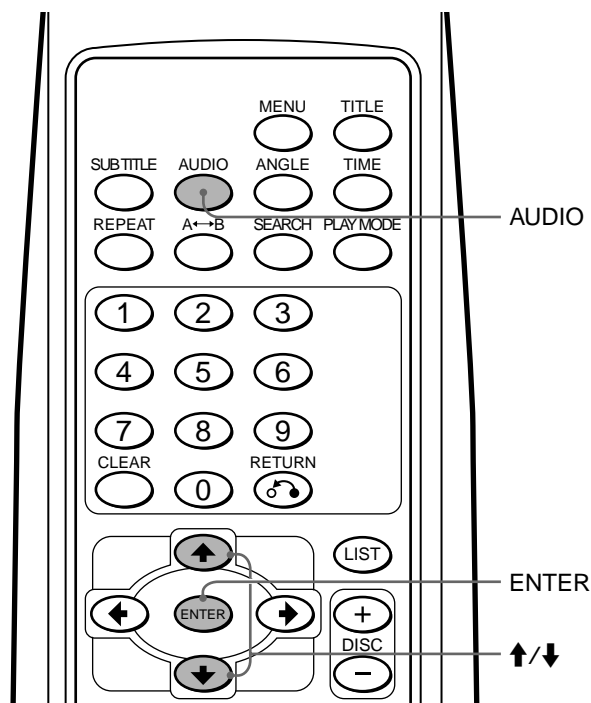
ご注意

ディスクによっては、MENUボタンを押しても再生が始まらないものもあります。この場合は、ディスクに付属されている説明書にしたがって操作してください。

音声言語を切り換える

DVDに、複数の言語(マルチランゲージ)で音声記録されているときは、再生中に好きな言語の音声に切り換えられます。

いろいろな操作



- 1 再生中、AUDIOボタンを押す。
画面上部に、現在選ばれている音声言語が約5秒間表示されます。
例) オーディオ 01.Dolby Digital
- 2 音声言語表示時、AUDIOボタンを繰り返し押し、好きな音声言語を選ぶ。
AUDIOボタンを押すたびに、ディスクに記録されている音声言語リストの中で、音声言語が切り換わります。
- 3 ENTERボタンを押す。
音声言語は、ENTERボタンを押さなくても、手順2で選んでから約5秒後(音声言語表示が消えた後)に、自動的に切り換わります。

ご注意

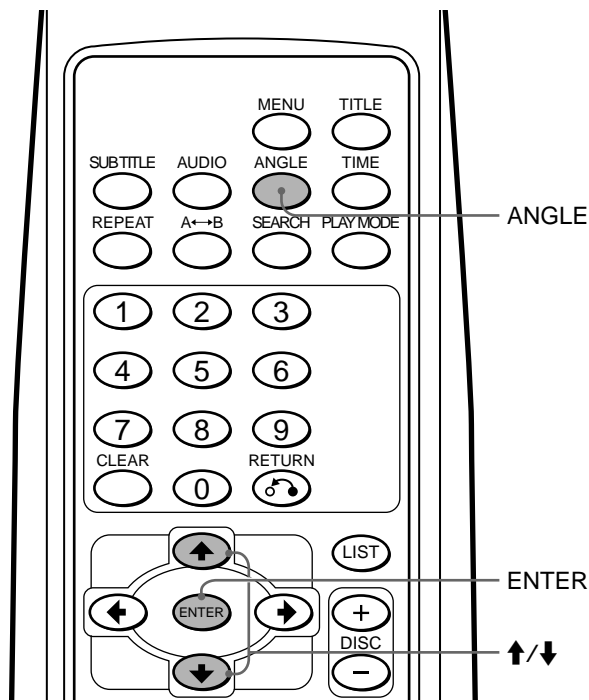
- 複数の音声言語が記録されているディスクの場合のみ切り換え可能です。
- 音声言語は、DVDメニューや設定画面でも切り換えられます。ディスクによっては、上記の操作では音声言語の切り換えができないものもあります。この場合は、DVDメニューまたは設定画面で切り換えてください。
くわしくは「DVDメニューを使う(33ページ)」、「音声言語を設定する(40ページ)」をご覧ください。



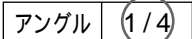
手順2の音声言語は、↑/↓ボタンでも選択できます。

アングルを切り換える

DVDの中には、同じ場面が複数のアングルで記録されているもの(マルチアングル)があります。このようなDVDでは、再生中、複数のアングルが記録されている部分で好きなアングルに切り換えながら見ることができます。
例えば、走っている電車のシーンの再生中に、電車の運転席から見ていた景色を、左の客席窓や右の客席窓からの景色に、映像の動きを止めることなく切り換えて見るができます。



- 1 複数のアングルで記録されている場面を再生中に、ANGLEボタンを押す。
画面上部に、現在選ばれているアングル番号が約5秒間表示されます。

例)  現在選ばれているアングルの番号 / 記録されているアングルの総数

- 2 アングル番号表示時、ANGLEボタンを繰り返し押し、好きなアングル番号を選ぶ。
ANGLEボタンを押すたびに、アングル番号が切り換わります。
- 3 ENTERボタンを押す。
アングルは、ENTERボタンを押さなくても、手順2で選んでから約5秒後(アングル番号表示が消えた後)に、自動的に切り換わります。

ご注意

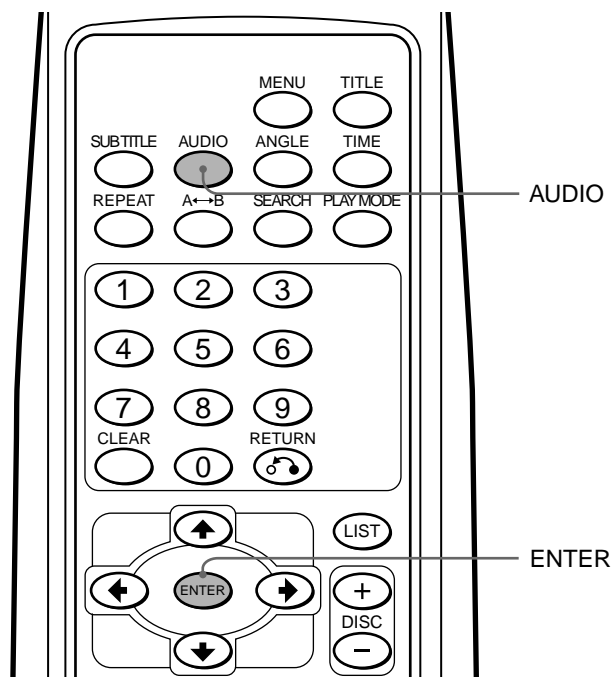
- 複数のアングルで記録されている場面でのみ可能です。
- 切り換えられるアングルの数は、DVDによっても、場面によっても異なります。DVDのその場面に記録されているアングルの数だけ切り換えることができます。
- DVDによっては複数のアングルが記録されていても、切り換えを禁止している場合があります。
- アングルの切り換えは、通常再生時のみ可能です。スロー再生やコマ送り再生などをしているときに、アングルの切り換えはできません。
- アングル切り換えが可能な場面になると、自動的に、手順2で選んだアングル番号のアングルに切り換わります。



手順2のアングル番号は、↑/↓ボタンも選択できます。

音声を切り換える

複数の音声トラックが記録されたビデオCDまたは音楽用CDでは、左右どちらかのチャンネルの音を選び、左右両方のスピーカーから選んだ音を聞くことができます。このときの音声はモノラルになります。例えばカラオケのビデオCDなどでは、音声チャンネルを切り換えることで、ボーカルのトラックを消し、伴奏だけを楽しめるものもあります。



いろいろな操作

■ ビデオCD

- 1 再生中、AUDIOボタンを押す。
画面上部に、現在選ばれている出力方法が約5秒間表示されます。
例)

オーディオ	L/R
-------	-----
- 2 出力方法表示時、AUDIOボタンを繰り返し押して、出力方法を選ぶ。
AUDIOボタンを押すたびに、下記のように出力方法が切り換わります。

→ステレオ ("L/R") →モノラル 右 ("R/R") →モノラル 左 ("L/L")

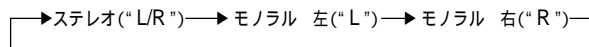
- 3 ENTERボタンを押す。
出力方法は、ENTERボタンを押さなくても、手順2で選んでから約5秒後(出力方法表示が消えた後)に、自動的に切り換わります。

次のページへつづく

■ 音楽用CD

再生中、AUDIOボタンを繰り返し押す。

AUDIOボタンを押すたびに、下記のように出力方法が切り換わります。



ご注意

- 次の場合に通常のスtereo再生に戻ります。
 - ー 本機からディスクを取り出したとき
 - ー ワイヤードリモコンのOFFボタンを押して電源を切ったとき
- 設定画面の「デジタルアウト」が「LPCM」になっていると、ディスクにDTSの音声記録されていても、音声が出ません。

プレイバックコントロール機能を使う

—PBC再生

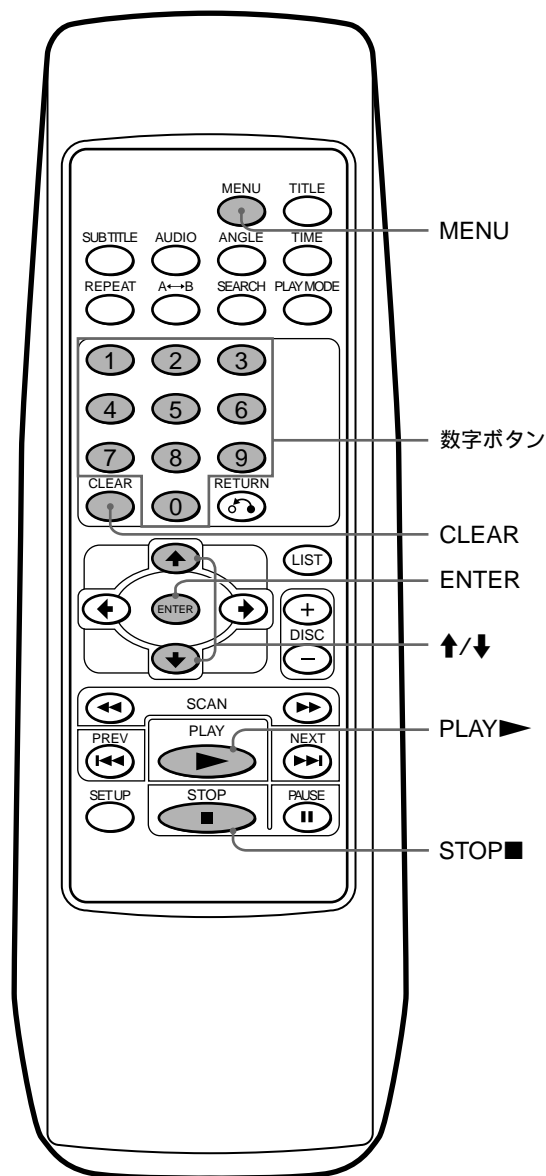
PBC対応ビデオCD(バージョン2.0)では、PBC(プレイバックコントロール)機能を使って、対話型の操作や検索などができます。

PBC再生とは、テレビ画面に表示される選択用のメニューにしたがって、再生を進めていくことです。

本書では、PBCメニューを使って、対話形式で再生を進めていくことを、PBC再生と呼びます。

PBCメニュー操作時はワイヤレスリモコンの↑/→/↓/←ボタン、またはENTERボタンで選んでください。

(ワイヤードリモコンからは操作できません。)



1 「ディスクを再生する(18ページ)」の手順1から4を行って、PBC対応ビデオCDの再生を始める。

2 選択用のメニュー画面表示時、数字ボタン(0~9)で行いたい(再生したい)項目の番号を選ぶ。

例)項目番号「10」を入力する場合

① ①を押す。

画面左上に“- - 1”が表示されます。

② ⑩を押す。

画面左上の表示が“- 10”に変わります。

画面左上の表示(例:“- - 1”)が消える前に、次の操作も行ってください。

3 ENTERボタンを押す。

4 モニターに表示される選択用のメニュー画面などにしたがって、操作する。

操作の方法はビデオCDによって異なることがありますので、ビデオCDに付属の説明書も合わせてご覧ください。

ご注意

PBC対応ビデオCDを再生すると、自動的にPBC再生になります。PBC再生を止めて、通常の再生をしたい場合は、「PBC再生を止めて、通常の再生をするには」をご覧ください。



- 手順2の項目番号は↑/↓ボタンでも選べます。
- 手順2で間違った数字を入力した場合は、CLEARボタンを押すと、入力した数字が消えます。

PBC再生時、PBCメニュー画面を表示するには
MENUボタンを押す。

PBC再生を止めて、通常の再生をするには

1 STOP■ボタンを押す。

再生を止めます。(“リジューム待機……”を表示し、リジューム再生機能が働きます。)詳しくは「リジューム再生について(19ページ)」をご覧ください。

約1秒後に消えます。

PBC再生時のみ表示されます。



2 STOP■ボタンを押す。

“リジューム待機……”が消え、リジューム再生機能を解除します。

3 STOP■ボタンを押す。

画面右上にあった“PBC”が消えます。

4 PLAY▶ボタンを押す。

再生が始まります。

ご注意

PBC再生をしないと再生できない内容もあります。

通常の再生からPBC再生に戻すには

1 STOP■ボタンを押す。

再生を止めます。(“リジューム待機……”を表示し、リジューム再生機能が働きます。)

詳しくは「リジューム再生について」をご覧ください(19ページ)。

2 STOP■ボタンを押す。

“リジューム待機……”が消え、リジューム再生機能を解除します。

3 STOP■ボタンを押す。

画面右上に“PBC”が表示されます。

4 PLAY▶ボタンを押す。

PBC再生をします。

PBCメニュー画面が表示されない場合は、MENUボタンを押すと、表示されます。

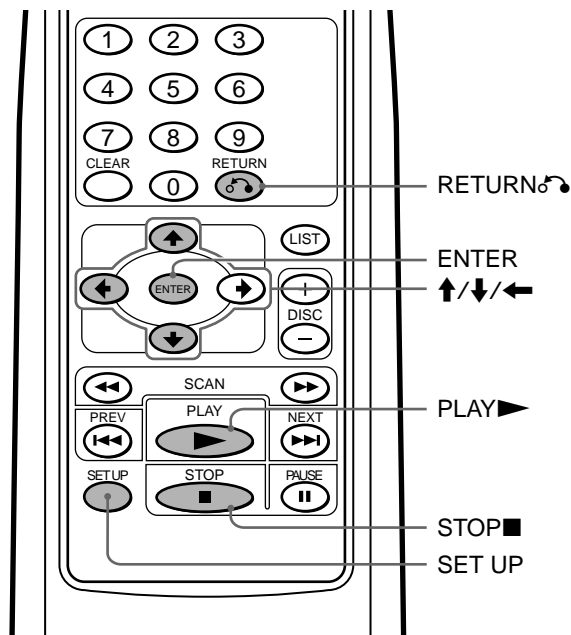
設定する



ここでは、設定画面を使った設定について説明します。

本機を初めてお使いになるときに必要な設定もあります。


設定画面を使う

設定画面を使って、初期設定や画質や音質の調整、さまざまな出力の設定などができます。また、DVDの字幕の言語やメニューの表示言語、視聴制限の設定などもできます。




- 1 STOP  ボタンを押し、再生を止める。
「リジューム待機……」が表示されます。
- 2 SET UP ボタンを押す。
設定画面が表示されます。
- 3  ボタンで設定する項目を選び、ENTER ボタンを押す。
選んだ項目の設定画面になります。
- 4 設定を変更する。
各項目の設定についてくわしくは、「設定画面(39ページ)」項目一覧 **1** ~ **8** の()内ページをご覧ください。

ひとつ前の画面に戻るには

RETURN  ボタンまたは  ボタンを押します。

設定変更を終わる / 途中でやめるには

- 1 SET UP ボタンを押す。
停止画面に戻ります。
- 2 PLAY  ボタンを押す。
再生を始めます。

設定画面

各項目の設定についてくわしくは、()内のページをご覧ください。
お買い上げ時は下線の付いている項目に設定されています。

初期設定		
1	DVDメニュー言語	オリジナル
2	オーディオ言語	オリジナル
3	サブタイトル言語	オリジナル
4	デジタルアウト	LPCM
5	ディスプレイ	4:3 レターボックス
6	視聴制限	8
7	画面メッセージ	入
8	プレーヤー言語	日本語

設定する

ご注意

- 設定画面の項目には、項目を選ぶ以外の操作が必要なものもあります。
- 設定した内容は、設定を変更しない限り保持されます。
- ビデオCDと音楽用CDの場合はリジューム再生機能が働いており、再生を止めた続きから再生します。
- DVDの場合は、チャプター1の頭から再生しますが、設定項目を変更しなかった場合は、リジューム再生機能が働き、再生を止めた続きから再生します。

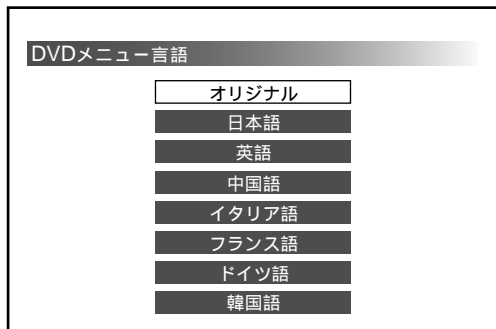
1 DVDメニュー言語 (40ページ)	<ul style="list-style-type: none"> オリジナル 日本語 英語 中国語 イタリア語 フランス語 ドイツ語 韓国語 	7 画面メッセージ (47ページ)	<ul style="list-style-type: none"> 入切
2 オーディオ言語 (40ページ)	<ul style="list-style-type: none"> オリジナル (DVDメニュー言語と同じ) 	8 プレーヤー言語 (47ページ)	<ul style="list-style-type: none"> 日本語 English (英語)
3 サブタイトル言語 (41ページ)	<ul style="list-style-type: none"> オリジナル (DVDメニュー言語と同じ) 切 		
4 デジタルアウト (42ページ)	<ul style="list-style-type: none"> LPCM Bitstream 		
5 ディスプレイ (43ページ)	<ul style="list-style-type: none"> 4:3 レターボックス 4:3 パン&スキャン 16:9 ワイドスクリーン 		
6 視聴制限 (45ページ)	<ul style="list-style-type: none"> 8 7 6 5 4 3 2 1 		

DVDメニュー言語を設定する

DVDに記録されているDVDメニューの表示言語の切り換えができます。

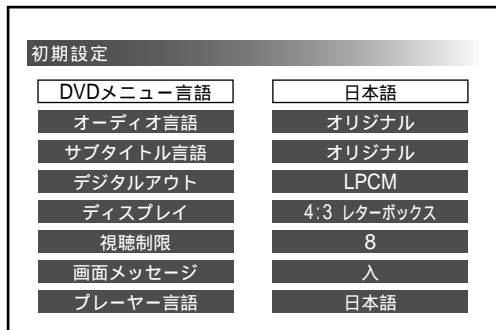
お買上げ時は「オリジナル(ディスク内で優先されている言語)」に設定されています。

- 1 「設定画面を使う」の手順1、2(38ページ)にしたがって、設定画面を表示する。
- 2 ↑/↓ボタンで“DVDメニュー言語”を選び、ENTERボタンを押す。
DVDメニュー言語設定画面が表示されます。
背景色が黄色の言語が現在の設定です。



- 3 ↑/↓ボタンで好きな言語を選び、ENTERボタンを押す。
設定画面に戻ります。(「DVDメニュー言語」の設定は選んだ言語に換わっています。)

例)日本語



ご注意

- ディスクによって、記録されている言語が異なります。ディスクによっては、1つの言語しか記録されていないものもあります。
- ディスクに記録されていない言語を選んだ場合は、ディスクに記録されている言語のいずれかで再生します。
- ディスクによっては、選んだ言語で表示されないことがあります。
- 再生するディスクに付属されている説明書も、合わせてお読みください。

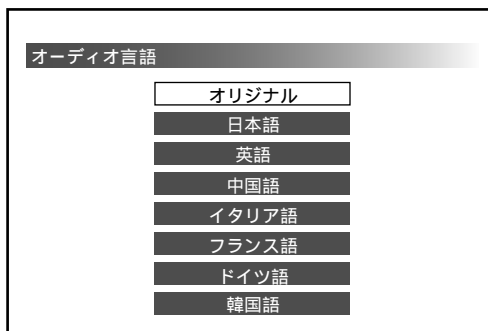


「オリジナル」に設定した場合は、ディスク側で優先されている言語で再生されます。

音声言語を設定する

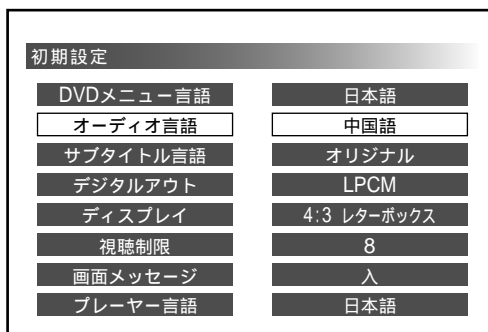
DVDに記録されている音声言語の切り換えができます。
お買上げ時は「オリジナル(ディスク内で優先されている言語)」に設定されています。

- 1 「設定画面を使う」の手順1、2(38ページ)にしたがって、設定画面を表示する。
- 2 ↑/↓ボタンで“オーディオ言語”を選び、ENTERボタンを押す。
オーディオ言語設定画面が表示されます。
背景色が黄色の言語が現在の設定です。



- 3 ↑/↓ボタンで好きな言語を選び、ENTERボタンを押す。
設定画面に戻ります。(「オーディオ言語」の設定は選んだ言語に換わっています。)

例)中国語



ご注意

- ディスクによって、記録されている言語が異なります。ディスクによっては、1つの言語しか記録されていないものもあります。
- ディスクに記録されていない言語を選んだ場合は、ディスクに記録されている言語のいずれかで再生します。
- ディスクによっては、選んだ言語で再生されないことがあります。
- 再生するディスクに付属されている説明書も、合わせてお読みください。
- 音声言語は、DVDメニューやAUDIOボタンでも切り換えられます。くわしくは、「DVDメニューを使う(33ページ)」、「音声言語を切り換える(34ページ)」をご覧ください。但し、電源を切るなどした後、あらたに再生を始めたときは、設定画面で設定した言語で再生されます。
- DVDメニューやAUDIOボタンで音声言語を切り換えた場合、設定画面の設定は変わりません。
- 設定画面の設定を変更後、ディスクを再生すると、ディスクの最初から再生します。ディスクを再生していて、途中から音声言語を切り換えたい場合は、AUDIOボタンで切り換えてください。




「オリジナル」に設定した場合は、ディスク側で優先されている言語で再生されます。

字幕言語を設定する

DVDに記録されている字幕言語の切り換えができ、字幕は消すこともできます。

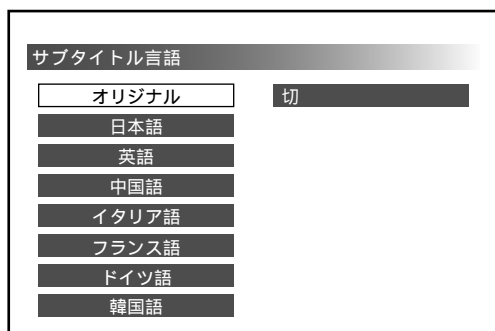
お買上げ時は「オリジナル」に設定されています。


1 「設定画面を使う」の手順1、2(38ページ)にしたがって、設定画面を表示する。

2 ボタンで“サブタイトル言語”を選び、ENTERボタンを押す。

サブタイトル言語設定画面が表示されます。

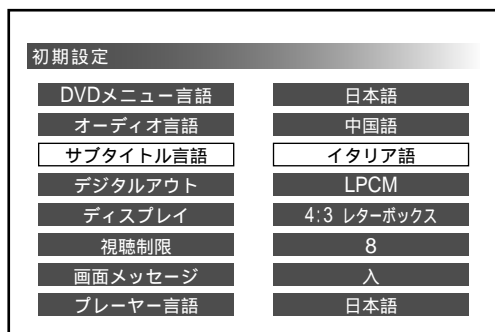
背景色が黄色の言語が現在の設定です。



3 ボタンで好きな言語または“切”(字幕を消す場合)を選び、ENTERボタンを押す。

設定画面に戻ります。(「サブタイトル言語」の設定は、選んだ言語または「切」に変わっています。)

例)イタリア語



ご注意

- ディスクによって、記録されている言語が異なります。ディスクによっては、字幕が記録されていないものや、1つの言語しか記録されていないものもあります。
- ディスクに記録されていない言語を選んだ場合は、ディスクに記録されている言語のいずれかで再生します。
- ディスクによっては、字幕を消すことを禁止しているものもあります。
- ディスクによっては、選んだ言語で再生されないことがあります。
- 再生するディスクに付属されている説明書も、合わせてお読みください。
- 字幕言語は、DVDメニューやSUB TITLEボタンでも切り換えられます。くわしくは「DVDメニューを使う(33ページ)」の「字幕を表示する(32ページ)」をご覧ください。但し、電源を切るなどした後、あらたに再生を始めたときは、設定画面で設定した言語で再生します。
- DVDメニューやSUB TITLEボタンで字幕言語を切り換えた場合、設定画面の設定は換わりません。
- 設定画面の設定を変更後、ディスクを再生すると、ディスクの最初から再生します。ディスクを再生していて、途中から字幕言語を切り換えたい場合は、SUB TITLEボタンで切り換えてください。



「オリジナル」に設定した場合は、ディスク側で優先されている言語で再生されます。

デジタルアウトを設定する

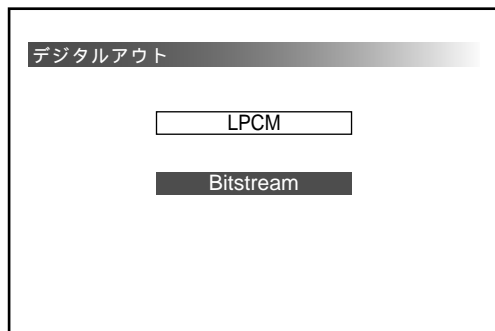
本機の光デジタル音声出力端子から出力する音声出力を切り換えることができます。接続するデジタルオーディオ機器に合わせて、正しく設定してください。
お買上げ時は「LPCM」に設定されています。

LPCM	ドルビーデジタルデコーダーを内蔵していないデジタルオーディオ機器を接続した場合に選んでください。ドルビーデジタル方式の音声(信号)を再生すると、リアPCM方式に変換して出力します。
Bitstream	ドルビーデジタルデコーダーを内蔵しているデジタルオーディオ機器を接続した場合に選んでください。ドルビーデジタル方式の音声(信号)を再生すると、ドルビーデジタル方式の音声(信号)をそのまま出力します。

ご注意

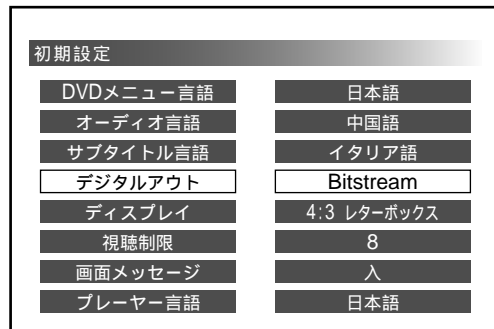
DTS方式の音声(信号)を再生する場合は、DTSデコーダーを内蔵しているデジタルオーディオ機器を接続し、「Bitstream」を選んでください。「LPCM」に設定すると、音声が出ません。

- 1 「設定画面を使う」の手順1、2(38ページ)にしたがって、設定画面を表示する。
- 2 ↑/↓ボタンで「デジタルアウト」を選び、ENTERボタンを押す。
デジタルアウト設定画面が表示されます。
背景色が黄色い方が現在の設定です。



- 3 ↑/↓ボタンで音声出力(LPCMまたはBitstream)を選び、ENTERボタンを押す。
設定画面に戻ります。(「デジタルアウト」の設定は選んだ音声出力に換わっています。)

例)Bitstream




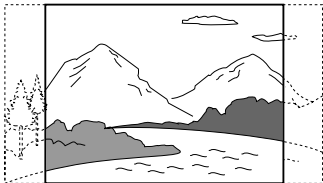
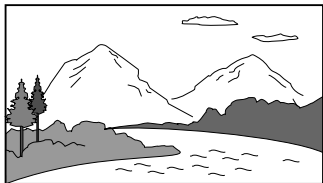
警告

誤った設定をすると、異音が出て、耳に悪い影響を与えたり、スピーカーを破損する恐れがあります。接続するデジタルオーディオ機器の説明書も合わせてお読みください。

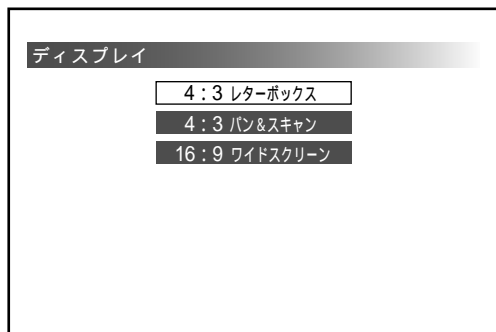
モニターのアスペクト比を設定する

モニターには、画面の縦と横の比率が4:3のノーマルモニターと16:9のワイドモニターの2種類あります。また、DVDには、下記の3つのアスペクト比のうち、複数のアスペクト比が記録されているものがあります。お使いになるモニターに合わせて、アスペクト比を設定してください。お買上げ時は「4:3 レターボックス」に設定されています。

モニタータイプ

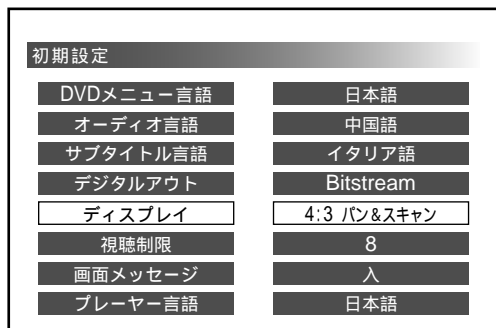
4:3 レターボックス	4:3 パン&スキャン	16:9 ワイドスクリーン
ノーマルモニターをご使用のときに選んでください。 DVDの16:9ワイド画像を再生すると、垂直方向に圧縮して表示します。 (画面の上下に黒い帯が入ります。)	ノーマルモニターをご使用のときに選んでください。 DVDの16:9ワイド画像を再生すると、画像の左右を切って表示します。	ワイドモニターをご使用のときに選んでください。DVDの16:9ワイド画像を再生すると、フルサイズで表示します。 フルサイズで表示するには、ワイドモニターを“FULL”またはこれに相当するモードに設定してください。
		

- 1 「設定画面を使う」の手順1、2(38ページ)にしたがって、設定画面を表示する。
- 2 **↑/↓**ボタンで“ディスプレイ”を選び、ENTERボタンを押す。
ディスプレイ設定画面が表示されます。
背景色が黄色のアスペクト比が現在の設定です。



- 3 **↑/↓**ボタンでアスペクト比(4:3 レターボックス、4:3 パン&スキャン、16:9 ワイドスクリーン)を選び、ENTERボタンを押す。
設定画面に戻ります。(「ディスプレイ」の設定は選んだアスペクト比に換わっています。)

例) 4:3 パン&スキャン



ご注意

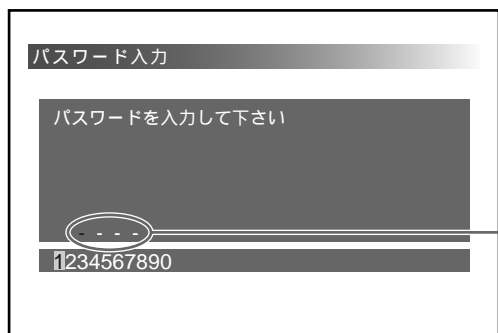
- ディスクに記録されていないアスペクト比を選んだ場合は、ディスクに記録されているアスペクト比のいずれかで再生されます。また、ディスクによっては、1つのアスペクト比しか記録されていないものもあります。再生するディスクの説明書をご確認ください。
- ノーマルモニターでご使用のときに、「16:9 ワイドスクリーン」に設定すると、画像が不自然になることがあります。ノーマルモニターをご使用の場合は、「4:3 レターボックス」または「4:3 パン&スキャン」に設定してください。
- ワイドモニターを「FULL」またはこれに相当するモードにして、本機を「4:3 レターボックス」または「4:3 パン&スキャン」に設定すると、画像が不自然になります。ワイドモニターで「4:3 レターボックス」または「4:3 パン&スキャン」の映像を見る場合は、ワイドモニターを画面の縦横の比率が4:3になるモード(メーカーによって名称が異なりますが、例えば、「ノーマルモード」等)に設定してください。
- DVDによっては「4:3 レターボックス」あるいは「4:3 パン&スキャン」に設定していても、自動的にどちらかで再生されるものがあります。

視聴制限を設定する

DVDによっては、視聴制限機能が記録されているものがあります。これらのディスクは、プレーヤー側(本機)で設定している制限レベルに応じて、視聴を制限することができます。お買上げ時は“8(制限なし)”に設定されています。初めてこの機能をお使いになる時は、まずパスワードを登録してください。

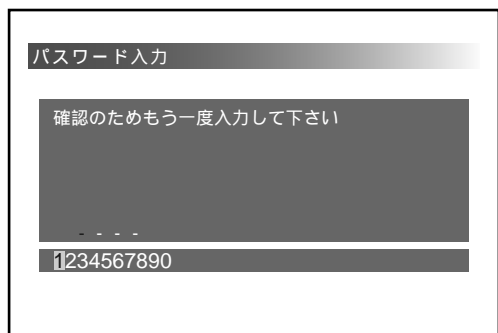
パスワードを登録する

- 1 「設定画面を使う」の手順1、2(38ページ)にしたがって、設定画面を表示する。
- 2 **↑/↓**ボタンで“視聴制限”を選び、ENTERボタンを押す。パスワード登録画面が表示されます。



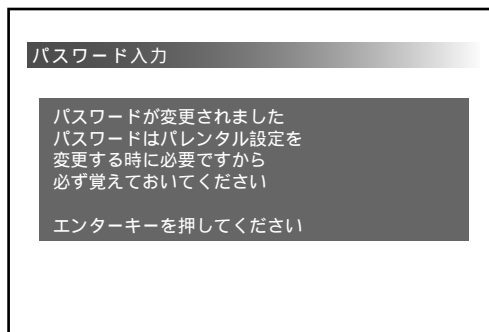
手順3で数字を入力すると、
“ - ”が“ * ”に変わります。

- 3 数字ボタン(0~9)でパスワード(4桁の番号)を入力する。パスワード再入力画面が表示されます。

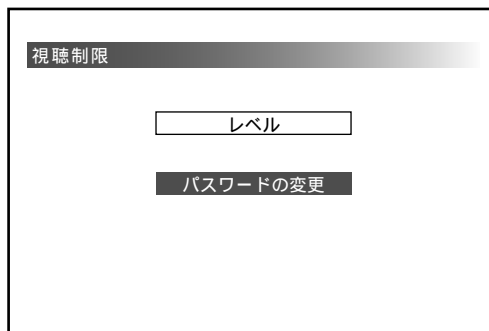


間違った数字を入力した場合は、CLEARボタンを押すと、入力したすべての数字が消えます。

- 4 手順3で入力したパスワードをもう1度入力する。メッセージ画面が表示されます。



- 5 ENTERボタンを押す。
視聴制限メニュー画面が表示されます。



ご注意

登録したパスワードは忘れないでください。
視聴制限設定を変更するときはパスワードが必要です。
また、視聴制限レベルが記録されているディスクの中には、パスワードを入力しないと再生できないものもあります。



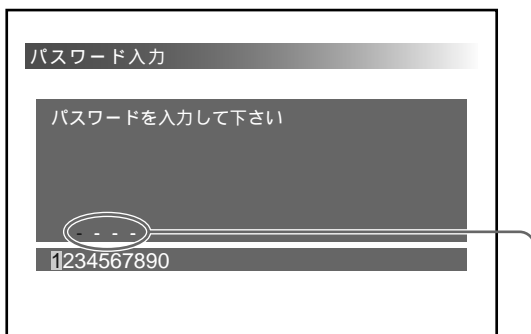
パスワードは、**←/→**ボタンで画面下部の数字を選び、ENTERボタンを押しても入力できます。

ひき続き視聴制限レベルを変更される方は

「視聴制限レベルを換える(45ページ)」の手順4にお進みください。

視聴制限レベルを換える

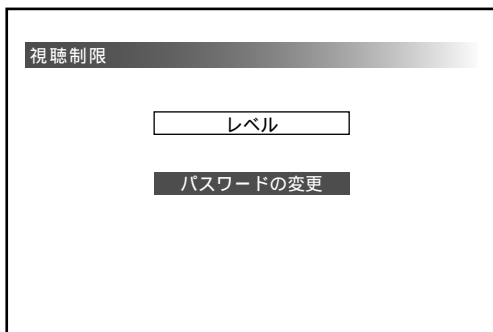
- 1 「設定画面を使う」の手順1、2 (38ページ)にしたがって、設定画面を表示する。
- 2 **↑/↓**ボタンで“ 視聴制限 ”を選び、ENTERボタンを押す。
パスワード入力画面が表示されます。



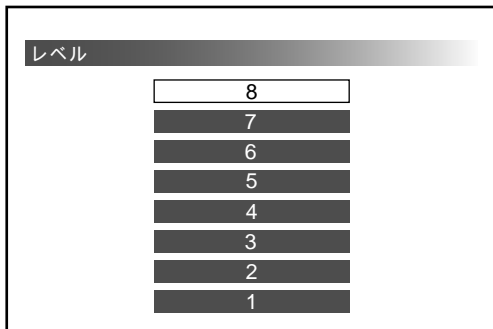
手順3で数字を入力すると、
“ - ”が“ * ”に変わります。

間違った数字を入力した場合は、CLEARボタンを押すと、入力したすべての数字が消えます。

- 3 数字ボタン(0~9)で登録してあるパスワードを入力する。
視聴制限メニュー画面が表示されます。



- 4 **↑/↓**ボタンで“ レベル ”を選ぶ。
- 5 ENTERボタンを押す。
レベル設定画面が表示されます。
背景色が黄色のレベルが現在の設定です。



視聴制限レベル

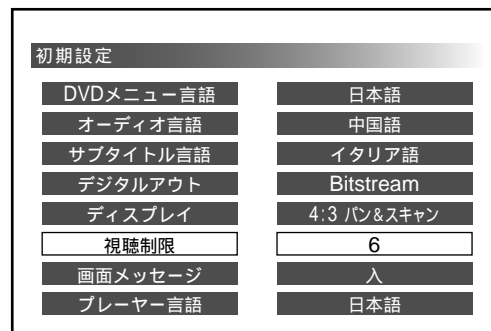
「8」に設定しておくと、すべてのディスクが再生できます。
「7」から「1」の順に、視聴制限は厳しくなります。たとえば、「4」に設定しておくと、視聴制限レベルが「5」、「6」、「7」、「8」のディスクは再生できません。

本機の視聴制限レベルは、MPAA (米国映画協会) の視聴規格に準拠しています。MPAA規格が本機のどのレベルに相当するかは下表をご覧ください。

レベル	MPAA基準	制限内容
8	NR	制限なし (すべてのディスクが再生可能)
7	NC-17	成人指定 / 18歳未満は視聴不可
6	R	17歳以下は成人同伴を除き視聴不可
5	-	-
4	PG-13	13歳以下の子どもには不適切な内容が含まれている場合あり
3	PG	子供向けではない内容が含まれている場合あり
2	-	-
1	G	一般 / 子供に不適切な表現なし

- 6 **↑/↓**ボタンでレベルを選ぶ。
- 7 ENTERボタンを押す。
視聴制限メニュー画面に戻ります。
- 8 RETURN/↵ボタンまたは←ボタンを押す。
設定画面に戻ります。(「 視聴制限 」の設定は手順6で選んだレベルに変わっています。)

例) レベル6



ご注意

- ・視聴制限レベルが記録されていないディスクの場合は、本機で再生を制限することはできません。視聴制限レベルは、多くの場合、ディスクのパッケージなどに記載されています。
- ・視聴制限のしかたはディスクによって異なり、全く再生できない場合や、不快な場面を飛ばして再生する場合などがあります。くわしくは、再生するディスクの説明書をお読みください。

パスワードを忘れてしまったら

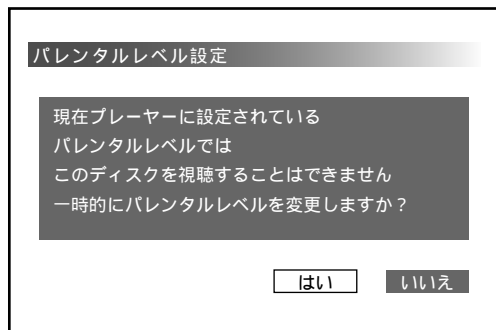
パスワード入力画面で、「5534」を入力してください。
次の手順へ進むことができます。

[次のページへつづく](#)

視聴制限を設定する

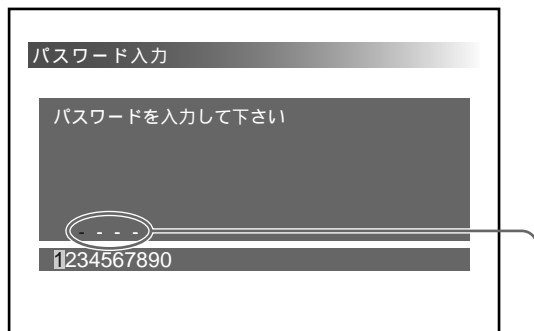
一時的に視聴制限レベルを換える

本機で設定した視聴制限によって、ディスクが再生できない場合、下記のような確認画面が現れます。一時的に視聴制限レベルを変更し、再生可能にする場合は、**←/→**ボタンで「はい」を選び、ENTERボタンを押して視聴制限レベルを変更してください。「いいえ」を選ぶとそのディスクは再生できません。



パスワードを変更する

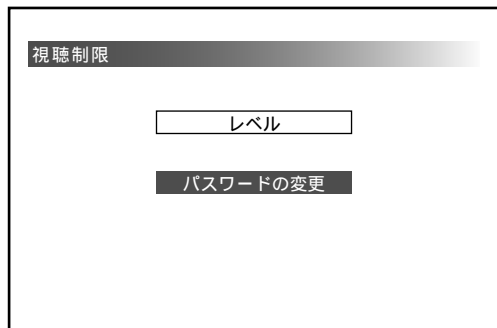
- 1 「設定画面を使う」の手順1、2(38ページ)にしたがって、設定画面を表示する。
- 2 **↑/↓**ボタンで“視聴制限”を選び、ENTERボタンを押す。パスワード入力画面が表示されます。



手順3で数字を入力すると、“-”が“*”に変わります。

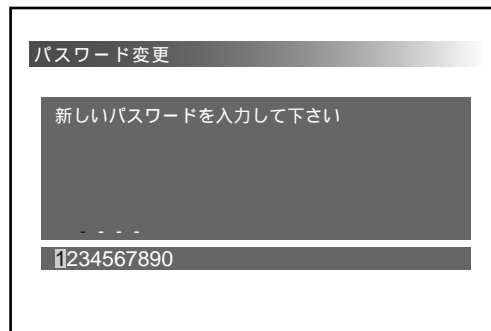
間違った数字を入力した場合は、CLEARボタンを押すと、入力したすべての数字が消えます。

- 3 数字ボタン(0~9)で登録してあるパスワードを入力する。視聴制限メニュー画面が表示されます。

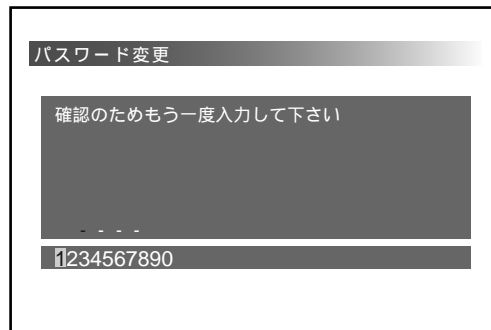


- 4 **↑/↓**ボタンで“パスワードの変更”を選び、ENTERボタンを押す。

新しいパスワードの入力画面が表示されます。

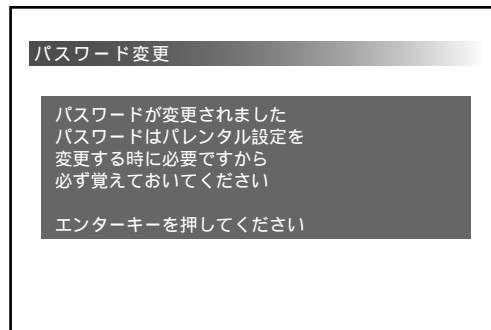


- 5 数字ボタン(0~9)で新しいパスワード(4桁の番号)を入力する。パスワード再入力画面が表示されます。



間違った数字を入力した場合は、CLEARボタンを押すと、入力したすべての数字が消えます。

- 6 手順5で入力したパスワードをもう一度入力する。メッセージ画面が表示されます。



- 7 ENTERボタンを押す。視聴制限メニュー画面に戻ります。設定画面に戻る場合は、RETURN/🔄ボタンまたは**←**ボタンを押してください。設定変更を終える場合は、SET UPボタンを押してください。リジューム待機画面に戻ります。



パスワードは、**←/→**ボタンで画面下部の数字を選び、ENTERボタンを押しても入力できます。

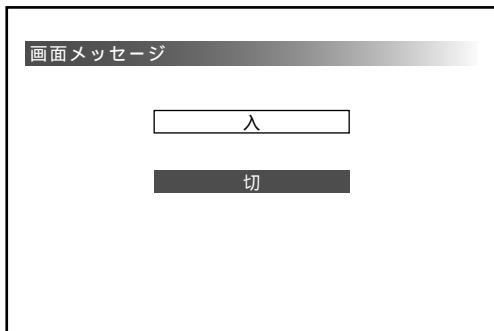
画面メッセージの入/切を設定する

DVD VCD

DVD / ビデオCD再生時にボタンを押したときなどに出る表示(▶、■、IIなど)を表示する(入) / 表示しない(切)の切り換えができます。

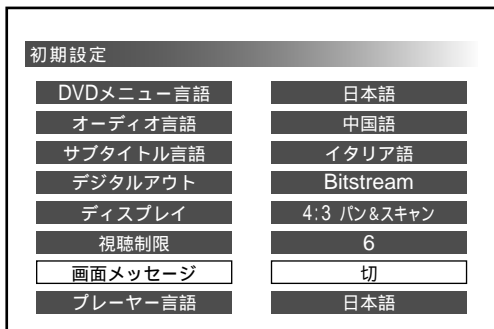
お買い上げ時は「入」に設定されています。

- 1 「設定画面を使う」の手順1、2(38ページ)にしたがって、設定画面を表示する。
- 2 ↑/↓ボタンで“画面メッセージ”を選び、ENTERボタンを押す。
画面メッセージ設定画面が表示されます。
背景色が黄色い方が現在の設定です。



- 3 ↑/↓ボタンで“入(表示する場合)”または“切(表示しない場合)”を選ぶ。
- 4 ENTERボタンを押す。
設定画面に戻ります。(「画面メッセージ」の設定は、選んだ方に換わっています。)

例) 切



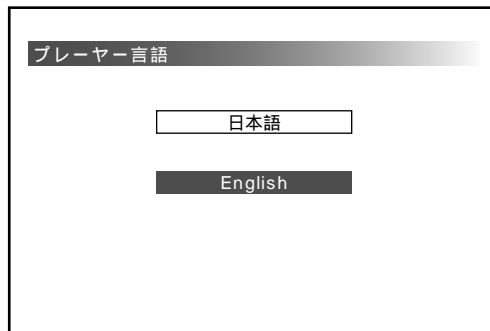
プレーヤー言語を設定する

DVD VCD CD

設定やメッセージ等の表示言語を日本語かEnglish(英語)に切り換えることができます。

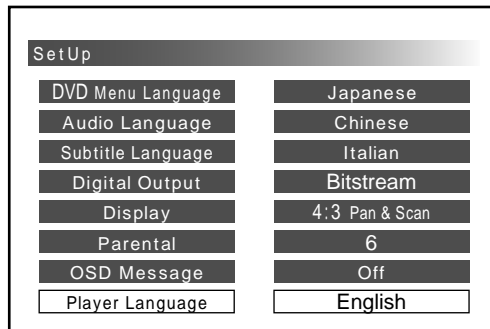
お買い上げ時は「日本語」に設定されています。

- 1 「設定画面を使う」の手順1、2(38ページ)にしたがって、設定画面を表示する。
- 2 ↑/↓ボタンで“プレーヤー言語”を選び、ENTERボタンを押す。
プレーヤー言語設定画面が表示されます。
背景色が黄色の言語が現在の設定です。



- 3 ↑/↓ボタンで好きな言語を選ぶ。
- 4 ENTERボタンを押す。
設定画面に戻ります。(選んだ言語で表示されます。また、「プレーヤー言語」の設定は選んだ言語に換わっています。)

例) English(英語)



その他

この章では、本機をご使用になる上での参考として役立つ情報を説明しています。

故障かな？と思ったら

本機の調子がおかしいとき、修理に出す前にもう1度点検してください。それでも正常に動作しないときは、お買い上げ店、テクニカルインフォメーションセンター、またはソニーサービス窓口にお問い合わせください。

電源

電源が入らない。

- ヒューズが切れている。
- 正しく接続されていない。

映像

映像が出ない。

- モニター側の明るさ調節が暗く設定されている。
- 正しく接続されていない。

映像が乱れる。

- ディスクに汚れや傷がある。
- 振動の生じるところで使用している。

映像の色や色合いが悪い。

- モニター側の明るさ、色合い、色の濃さの調節が正しくない。

設定画面の「ディスプレイ」で設定した画像アスペクト比で再生できない。

- 画像アスペクト比が固定されているディスクを再生している。

画面に英語でメッセージが表示される。

- 設定画面の「プレーヤー言語」が「English(英語)」になっている(47ページ)。

ビデオCDのメニュー画面が表示されない。

- PBC対応でないビデオCDを再生している。
- PBC対応のビデオCDで決められた操作をしていない。ビデオCDの取扱説明書も合わせてご覧ください。

音声

音が出ない。

- 正しく接続されていない。
- モニターまたはカーオーディオ側の音量調節が正しくない。
- 一時停止になっている(19ページ)。
- 早送り、早戻し、スロー再生、コマ送り再生になっている(23ページ)。
- デジタルアウトの設定が正しくない(42ページ)。

雑音が多い。

- ディスクに汚れ、傷がある。

ビデオCD、音楽用CDを再生したときに、音に奥行き感がなく、モノラルのように聞こえる。

- 正しく接続されているか確認する。

操作

ディスクマガジンが入らない。

- 挿入方向が正しくない。
- ディスクマガジン上面の矢印表示にしたがって入れてください。

リモコンで操作できない。

- リモコン発光部をリモコンセンサーの受光部に向けて操作していない。
- リモコンとリモコンセンサーとの距離が離れている。
- リモコンとリモコンセンサーとの間に障害物がある。
- リモコンの電池が消耗している。
- リモコンの電池の入れ方が間違っている(14ページ)。

「現在この操作は出来ません」が表示され操作できない。

- 再生しているディスクがその操作を禁止している。

再生が始まらない。

- ディスクが入っていない。
- ディスクが裏返しに入っている。
再生面を上にしてください。
- 車のバッテリー電圧が低下している。
- 本機で再生できないディスクを入れている(9ページ)。
- 本機で再生できない地域番号のDVDを入れている(10ページ)。
- 視聴制限の機能が働いて、本機がDVDの再生を禁止している(45ページ)。
- 結露している。ディスクマガジンを取り出して約1時間放置し、再び電源を入れ直してから再生を始める。

再生がディスクの最初から始まらない。

- リピートまたはA-Bリピート、プログラム、シャッフル再生になっている(21~22、26~27ページ)。
これらの機能を解除してから、再生を始める。
- リジューム再生になっている。
停止中に、STOP ボタンを押してから再生を始める(19ページ)。
- 自動的にタイトルメニュー、DVDメニュー、PBCのメニューの画面が表示されるディスクを入れている。

再生が自動的に止まる。

- ディスクによってはオートポーズ信号が記録されているものがある。このようなディスクを再生すると、オートポーズ信号のところで自動的に再生が止まる。

ストップ、サーチ、スロー、リピート再生などの操作ができない。

- 操作を禁止しているDVDまたはビデオCDを再生している。
- ディスクに付属の説明書も合わせてご覧ください。

シャッフル再生、プログラム再生ができない。

- 1トラックしか記録されていない音楽用CDを再生している。

音声言語を変更できない。

- 再生しているDVDに複数の音声言語が記録されていない。
- 音声言語の切り換えを禁止しているDVDを再生している。
- 再生しているDVDに記録されていない言語を選んで(40ページ)。

字幕を変更できない。

- 再生しているDVDに複数の字幕が記録されていない。
- 字幕の変更を禁止しているDVDを再生している。
- 再生しているDVDに記録されていない言語を選んで(41ページ)。

字幕が出ない。

- 再生しているDVDに字幕が記録されていない。
- 設定画面の「サブタイトル言語」を「切」にしている(41ページ)。

字幕を消すことができない。

- 字幕表示を消すことを禁止しているDVDを再生している。

[次のページへつづく](#)

故障かな？と思ったら

アングルを変更して見ることができない。

- 再生しているDVDに複数のアングルが記録されていない。
- 複数のアングルが記録されていない場面でアングルを切り換えている。
- アングルの変更を禁止しているDVDを再生している。

正常に動作しない。

- 静電気などの影響で正常に動作しなくなったときは、ワイヤードリモコンのOFFボタンを押して電源を切り、ONボタンを押して再び電源を入れる。

エラーメッセージ

操作中に次のようなメッセージが表示される場合があります。

■モニター画面

メッセージ	これが原因です	次のことを確認してください
このディスクは再生することができません	地域番号が「2」または「ALL」以外のDVDを再生しようとした。	本機の世界地域番号は「2」です。地域番号が「2」または「ALL」以外のDVDは、本機では再生できません。
	「NTSC」以外のカラーテレビ方式対応のDVDを再生しようとした。	本機のカラーテレビ方式は「NTSC」です。テレビ方式が「NTSC」以外のDVDは、本機で再生できません。
	視聴制限の機能が働いて、本機がDVDの再生を禁止している。	設定画面の視聴制限レベルを確認してください。再生しようとしているDVDの視聴制限レベルに合わせて、本機のレベルを変更すると、再生することができます。
現在この操作は出来ません	再生中のDVDではその操作ができない。	DVDでは、ディスク制作者の意図により、特定の操作を禁止しているものがあります。
	表示中の画面ではその操作ができない。	画面が進むと、操作できるようになります。
再生できないディスクです	本機で再生できないディスクを再生しようとしている。	本機で再生できるディスクをご使用ください。
	ディスクが裏返しになっている。	再生面を上にしてください。
	ディスクが汚れている。	ディスクを拭いてください。
	本機のレーザーレンズが濡れている。	本機からディスクマガジンを取り出し、約1時間放置してください。
全て再生できないディスクです	ディスクマガジン内のすべてのディスクが、本機で再生できないディスクである。	本機で再生できるディスクをご使用ください。
マガジンが挿入されていません	本機にディスクマガジンが挿入されていない。	本機にディスクマガジンを挿入してください。
マガジンにディスクが入っていません	ディスクマガジンに1枚もディスクが入っていない。	ディスクマガジンにディスクを入れてください。

■ワイヤードリモコン液晶画面

メッセージ	これが原因です	次のことを確認してください
E-07	ディスクにキズや汚れがあり、再生できない。	ディスクの汚れを拭きとってください。 ディスクを交換してください。

保証書とアフターサービス

保証書

- この製品には保証書が添付されていますので、お買い上げの際お受け取りください。
- 保証期間は、お買い上げ日より1年間です。

アフターサービス

調子が悪いときはまずチェックを

この説明書をもう一度ご覧になってお調べください。

それでも具合の悪いときは

テクニカルインフォメーションセンターやお買い上げ店、または添付の「ソニーご相談窓口のご案内」にあるソニーサービス窓口にご相談ください。

保証期間中の修理は

保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。
くわしくは保証書をご覧ください。

保証期間の経過後の修理は

修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理させていただきます。

部品の保有期間について

当社では、DVDチェンジャーの補修用性能部品（製品の機能を維持するために必要な部品）を、製造打ち切り後最低6年間保有しています。この部品保有期間を修理可能期間とさせていただきます。保有期間を経過した後も、故障箇所によっては修理可能な場合がありますのでテクニカルインフォメーションセンターかお買い上げ店、サービス窓口にご相談ください。

部品の交換について

この製品は修理の際、交換した部品を再生、再利用する場合があります。その際、交換した部品は回収させていただきます。

主な仕様

システム

形式	10連奏DVD / ビデオCD / 音楽用CDチェンジャー
信号方式	JEITA標準、NTSCカラー方式

音声特性

周波数特性	5 Hz ~ 20 kHz
実効選択度	85 dB (1 kHz)
信号対雑音比	90 dB
全高調波ひずみ率	0.01 %
ダイナミックレンジ	90 dB
ワウ・フラッター	測定限界 (±0.001% W PEAK) 以下*

電源、その他

電源	DC12 Vカーバッテリー (マイナスアース)
出力端子	映像出力端子 音声出力端子 光デジタル出力端子 FM出力端子
入力端子	リモコンセンサー入力端子
消費電流	1 A (ディスク再生時)
最大外形寸法	約250×80×205 mm (幅/高さ/奥行き)
質量	約2.5 kg
許容動作温度	-10~55°C

付属品

ワイヤレスリモコン(1)
ワイヤードリモコン(1)
リモコンセンサー(1)
ディスクマガジン(1)
FMモジュレーター(1)
単3乾電池(2)
インデックスラベル(1)
取り付け/接続部品(一式)
取扱説明書(1)
ソニーご相談窓口のご案内(1)
保証書(1)

FMモジュレーター(付属品)

最大外形寸法	約105×26×45 mm (幅/高さ/奥行き)
質量	約220 g

* JEITA(電子情報技術産業協会)の規格による測定値です。

仕様および外観は、改良のため、予告なく変更することがありますが、ご了承ください。

索引

五十音順

ア行

アスペクト比(ディスプレイ)
4:3 レターボックス 43
4:3 パン&スキャン 43
16:9 ワイドスクリーン 43
アングル 34
インデックス 10、31
イントロスキャン 27
エラーメッセージ 50
オーディオ言語 40
お手入れ 7
音楽用CD 7、9
音楽用リライダブルCD 7、9
音楽用レコーダブルCD 7、9
音声 35、36
音声言語 34

カ行

カラーテレビ方式 9
画面メッセージ 47
経過時間 30、31
故障かな?と思ったら 48、49、50
コマ送り 23

サ行

再生
イントロスキャン再生 27
シャッフル再生 27
速さを変えて再生 23
ふつうの再生 18
プログラム再生 24
リジューム再生 19
リピート再生 21
A-Bリピート再生 22
PBC再生 36~37
再生できるディスク 9
サブタイトル言語 41
シーン 10

視聴制限

視聴制限レベル 45
パスワード登録 44
パスワード変更 46

字幕

字幕言語 32、41
シャッフル 27
スロー 23
設定画面 39

タ行

ディスクマガジン 15、16
ディスク一覧画面 29
タイトル 10、31
タイトルメニュー 33
地域番号 10
チャプター 10、31
ディスク

入れる 15
取り扱い 7
取り出す 16

デジタルアウト

電池 6、14
トラック 10、31

ハ行

早送り 23
早戻し 23
ビデオCD 9
プレイバックコントロール(PBC) 11、36、37
プレーヤー言語 47
プログラム 24
プログラムリスト画面 25

ラ行

リジューム 19
リピート 21
リモコン 14

アルファベット / 数字順

A-Bリピート 22
Bitstream 42
CD 9
CD-Extra 9
DTS 9、19
DVD 9
DVDメニュー 33
DVDメニュー言語 40
FMモジュレーター 17
LPCM 42
PAL 9
PBC再生 36、37
Mixed CD 9
NTSC 9
SECAM 9
VCD 9

ソニー株式会社 〒141-0001 東京都品川区北品川 6-7-35

お問い合わせはお客ご相談センターへ

● ナビダイヤル……………0570-00-3311

(全国どこからでも市内通話料金でご利用いただけます)

● 携帯電話・PHSでのご利用は……03-5448-3311

● Fax ……………0466-31-2595

受付時間:

月~金

9:00~20:00

土・日・祝日

9:00~17:00

ご案内

ソニーではお客様技術相談窓口として

「テクニカルインフォメーションセンター」

を開設しています。

お使いになってご不明な点、技術的なご質問、故障と思われるときの相談は下記までお問い合わせください。

テクニカルインフォメーションセンター

電話: 048-794-5194

受付時間: 月~金 9:00~18:00

(祝日、年末年始、弊社休日を除く)

ご相談になるときは次のことをお知らせください。

- 型名
- 故障状態: できるだけ詳しく
- お買い上げ年月日

<http://www.sony.co.jp/>

Printed in Japan